

5 「子どもの夢プロジェクト」の実施

5「子どもの夢プロジェクト」の実施

【R6年度事業費：16百万円】
 (R7債務負担行為：23百万円)

※下表④、⑤の事業費を計上。
 ①～③は展示設計・制作費
 の中で実施。



- ・**万博という特別な機会に兵庫県の子どもたちが参加できる企画**を実施し、「未来に対してワクワクする」、「楽しく学び、その経験が未来につながる」など、今までに無い経験や新しい価値観に触れる機会を創出。
- ・兵庫の地域資源や魅力に触れ・知ること、**子どもたちの兵庫へのシビックプライドを醸成**。

コンセプト

子どもたちが**主体的に**万博に関わり、子どもと**共創**するプロジェクト

大切にしたい5つの視点



- 挑戦** 失敗してもいいからチャレンジできる
- 能動** 自分から積極的にアクションを起こせない子どもたちも活躍
- 個性** 自分の活かし方を見つけるきっかけ
- 包摂** 誰一人取り残さない
- 体感** 5感で感じられる

兵庫の子どもたちが
 兵庫から
 子ども目線で発信



プロジェクト概要

国籍や障害の有無にかかわらず誰もが参加できる企画とし、フリースクール等の民間団体・施設に通う児童・生徒などの参加にも配慮

事業名(仮称)	主な対象者	事業内容	※画像はすべてイメージ
①子どもたちが描き共創する「未来のまち“兵庫”」	小学生 中学生	「未来の兵庫の姿(案)」をテーマに絵画作品を募集し、応募のあった作品をスキャン・デジタル化。 <u>一人ひとりの作品をつなぎ合わせ、1つの大きなまち“兵庫”を共創し、プロジェクションマッピングで兵庫県立美術館に投影</u>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid grey; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">能動</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">体感</div>  </div>
②ひょうごの宝探し <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">4月中旬 募集開始予定</div>	中学生 高校生 大学生	<u>フィールドパビリオンプレイヤーの宝</u> を取材した3分動画や <u>自身と関係性の深い地域の宝</u> を撮影した15秒動画等を制作し、兵庫県ゾーンや県立美術館のモニターに投影するとともに、万博会場等でプレゼンを実施	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">挑戦</div> <div style="border: 1px solid yellow; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">個性</div>  </div>

5 「子どもの夢プロジェクト」の実施

プロジェクト概要

国籍や障害の有無にかかわらず誰もが参加できる企画とし、フリースクール等の民間団体・施設に通う児童・生徒などの参加にも配慮

事業名(仮称)	主な対象者	事業内容	
③コウノトリが導く、HYOGOミライバス	未就学児 小学生 特支学生等	県内の子どもたちが、万博会期前に県鳥であるコウノトリの折り紙を制作し、万博期間中に兵庫県ゾーンの回廊空間（ウェイティングゾーン）の天井面等に吊り下げ展示	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="background-color: #808080; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">能動</div> <div style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">包摂</div> </div> 
④ひょうごの魅力を届けるお仕事体験	小学生 中学生	フィールドパビリオンの活動現場を仕事として体験し、活動の魅力等を調査。体験を通して学んだ内容や気づきを発信するための紹介パネルを制作し、万博会場で行う自治体参加催事において発表会を実施	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="background-color: #f4a460; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">挑戦</div> <div style="background-color: #f4c400; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">個性</div> </div> 
⑤ひょうごキッズEXPO	未就学児 小学生	子どもの集まる場所（子ども食堂・児童館等）と連携し、夢の見つけ方等のオンライン授業を実施。県内各地で、スピーチコンテスト（夢の発表）や企業とコラボした商品開発等を実施	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="background-color: #f4a460; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">挑戦</div> <div style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">包摂</div> </div> 

ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
プロジェクト企画等	企画	プロジェクトの準備・実施	

6 機運醸成事業の実施

6 機運醸成事業の実施

・万博開幕に向けた機運を県内で盛り上げるため、**開幕300日前、半年前、1か月前などの節目のタイピングに万博関連イベントを集中して開催**。今後、引き続き、節目でのイベント開催や紙面掲載等を行い、万博を身近に感じてもらえる機会を創出し、**兵庫全体で万博開幕に向けた機運を盛り上げる**。

① カウントダウンイベント

万博開幕の半年前などの節目にひょうごフィールドパビリオンの展開をはじめとした兵庫の取組など、**県民の方に万博を身近に感じてもらえるためのカウントダウンイベントを開催**

(イメージ)



＜参考：「大阪・関西万博」500日前イベントの実施＞

万博開幕500日前にあたる令和5年11月30日に兵庫の取組をPRするとともに、万博の機運醸成を目的としたイベントを開催

- ・場所：神戸ポートピアホテル
- ・内容：知事基調講演、民間事業者による取組発表、大学生とのトークセッション等



② 万博会場外駐車場隣接地(尼崎フェニックス事業用地)の活用

(1)令和5年11月に万博会場外駐車場隣接地に**空飛ぶクルマのデモフライト用暫定ポートを開設**。万博開幕期間中の**空飛ぶクルマの2地点間運航(尼崎フェニックス事業用地～万博会場)**に向け、関係者間(※)で調整。

※博覧会協会、内閣官房、国土交通省、経済産業省、運航予定事業者、兵庫県



(2)万博期間中、1日最大1万人近い人が利用する会場外駐車場を、パークアンドライドの乗り換えだけで終わらせず、**県内各地のグルメや体験メニュー等ひょうごの魅力を発信する「ひょうご万博楽市・楽座」を開催**するための企画検討、事業者調整、会場整備を実施。

③ 大阪・関西万博を契機とした交通アクセスの充実に向けて

万博会場や県内各地にあるフィールドパビリオン等への交通アクセス充実に向けて、多様な交通カテゴリーを組み合わせさせたサービスの展開、交通サービスのDX化やインバウンド対応の充実等について具体策を今後検討。あわせて、空港や駅構内等で多面的なプロモーションを実施。

ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
カウントダウンイベント	500日前イベント	300日、半年、1か月前の節目にカウントダウンイベントを実施	
万博会場外駐車場隣接地の活用	企画検討・事業者調整		本開催

6 機運醸成事業の実施

<現時点での取組み予定（主な個別事業）>

他県連携 兵庫がハブとなり、共通の課題への解決策や連携できる魅力を持つ複数府県の連携を図る取組

事業名 【R6事業費】	事業概要
多彩なメディアを活用した広報展開 【375百万円(内数)】	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙(県民だよりひょうご)や情報番組、各種SNSなど多彩なメディアを活用し、旬の話題(イベント、コンテンツ等)を万博開幕に向け継続・定期的に発信。 <p>(ひょうご発信!)</p>
大阪湾ベイエリア活性化(クルージングMICE) 【11百万円】	<ul style="list-style-type: none"> ・万博の開催を見据え、国内外からの誘客を促進する手段の1つとして、船舶特有の非日常感や船上でのコンテンツを付加価値としたクルージングMICEを推進。 <p>(海上交通実証実験) (船上コンテンツの例)</p>
多様な人々が安心して万博に参加できる基盤づくり 【13百万円】	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての県民が障害の有無や言語、文化等の違いに関わりなく、安心して万博に参加できる基盤づくりを推進。
位置情報ゲームを活用した誘客促進 【10百万円(R5.12月補正)】	<ul style="list-style-type: none"> ・位置情報ゲーム等を活用し、フィールドパビリオンのプレミア・プログラムを中心に観光資源とをつなぐ、デジタルスタンプラリーを実施。 ・あわせて、スタンプラリー参加者の移動データやSNS投稿を通じた旅の印象を収集、分析を行い、より効果的な県内周遊の実現を目指す。
岡山県・香川県との周遊クルーズ実証実験 【3百万円】 <div style="text-align: right;">他県連携</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・万博や瀬戸内国際芸術祭開催時に兵庫・岡山・香川にある様々な観光資源(姫路城、直島等)をリンクさせ、外国人の誘客、周遊を促進させることとあわせて、姫路港の利用促進や交通の充実を図ることを目的に、実証実験を実施。 <p>〈クルーズルート〉</p>

※個別事業の詳細は、別冊（個票）を参照

6 機運醸成事業の実施

<現時点での取組み予定（主な個別事業）>

他県連携

兵庫がハブとなり、共通の課題への解決策や連携できる魅力を持つ複数府県の連携を図る取組

<p>事業名 【R6事業費】</p>	<p>事業概要</p>
<p>西播磨フロンティア祭の開催 【11百万円】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民への機運醸成を図るとともに、地域の魅力を発信するための地域PR・観光イベントを開催。 ・空飛ぶクルマ等の次世代科学技術の展示・体験を通して、播磨科学公園都市の賑わい創出と西播磨地域の連携・交流を促進。 
<p>「但馬まるごと感動市」におけるフィールドパビリオンの情報発信 【5百万円】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬地域の多様な農林水産物や地場産品等を活用した集客・交流イベントを開催。 ・継続的に但馬地域を訪れ、地域を見て、学び、体験していただく契機とし、フィールドパビリオン等地域の魅力を発信。 
<p>「コウノトリ・トキの野生復帰と環境創造型農業の推進」の取組を通じた情報発信 【1百万円】</p> <p style="text-align: right;">他県連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コウノトリの野生復帰や環境創造型農業(コウノトリ育む農法)に取り組む豊岡市と、同様の取組を展開する佐渡市との連携・交流を促進し、成果を広く国内外に情報発信することで、但馬地域への来訪者の増加を推進。 
<p>丹波地域への誘客促進に向けた二次交通の整備 【3百万円】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波地域の観光資源、フィールドパビリオン等を巡る周遊観光バスや、イベント時の移動手段としてグリーンスローモビリティを運行するなど、誘客促進に向けた二次交通の整備を試験実施。 

※個別事業の詳細は、別冊（個票）を参照

多彩なメディアを活用した広報展開

1. 事業概要

広報紙（県民だよりひょうご）や情報番組、各種SNSなど多彩なメディアを活用し、旬の話題（ロゴマーク、イベント、コンテンツの作成など）を万博開幕に向け継続・定期的に発信。

2. R7年度の実現内容

各メディアの特性を生かした情報発信により、万博開催に向けた機運醸成を図る。

- <メディア具体例>
- ・県公式X（旧Twitter）、Instagram、動画サイト「ひょうごチャンネル」
 - ・広報紙「県民だよりひょうご」（発行部数140万部）
 - ・情報番組「ひょうご発信！」（毎週日曜日テレビ放映）、ラジオ番組（月2回放送）
 - ・県民の声により地域の魅力を再発見する「U5H（兵庫五国連邦プロジェクト）」

3. R6年度実施内容【375百万円(内数)】

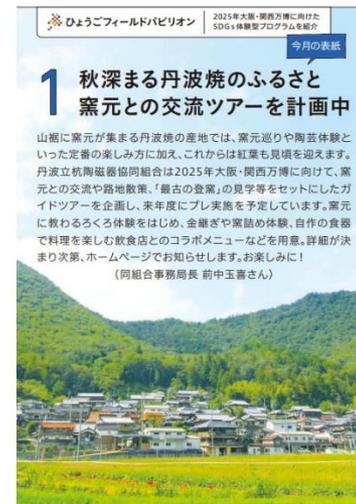
- (1) 広報紙「県民だよりひょうご」【264百万円(内数)】／情報番組「ひょうご発信！」【77百万円(内数)】
／在阪メディアを活用した魅力発信【20百万円(内数)】／SNS×ラジオによる魅力発信【6百万円(内数)】
：FP等、万博に関する総合的な情報発信
- (2) U5H【6百万円(内数)】
：FP等を独自の切り口で紹介するコンテンツの作成し、専用サイトやSNSで発信
- (3) 広報専門員県政PR動画の制作【2百万円(内数)】
：主にFPについて広報専門員が現地で体験しながら紹介



(広報専門員県政PR動画)



(ひょうご発信！)



(県民だよりひょうご)

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
各種SNSを活用		適宜	
広報紙、情報番組		広報紙:毎月発行、情報番組:毎週放送	
U5H、広報専門員動画	作成・公開	作成・公開	作成・公開

大阪湾ベイエリア活性化（クルージングMICE）

1. 事業概要

大阪・関西万博の開催を見据え、国内外からの誘客を促進する手段の1つとして、船舶特有の非日常感や船上でのコンテンツを付加価値としたクルージングMICEを推進する。

旅行会社等の民間事業者主催によるモデル事業を実施し、機運醸成を図るとともに、民間事業者による自立的な商用運航につなげる。

2. R7年度の実現内容

民間事業者による自立運航に向けた取組を支援し、兵庫と大阪など他地域とを結ぶ新規航路の実現を目指す。

3. R6年度実施内容【11百万円】

(1)実施方法：①実施する民間事業者（旅行会社や船会社）への働きかけ

②旅行会社等が、船舶による移動、船上コンテンツを含めた旅行商品を造成

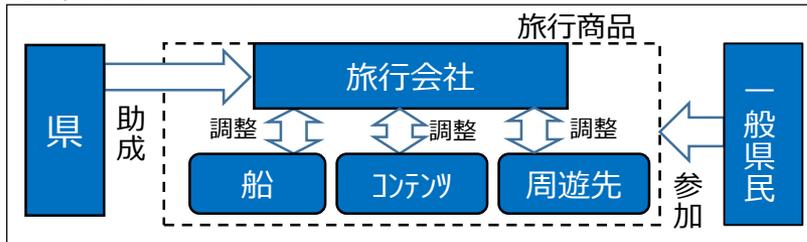
③旅行商品を販売して一般旅行者を募集し、クルージングMICEを実施

④実施内容を検証し、以後の旅行商品造成に反映

(2)航路：大阪湾を周遊する航路（神戸－大阪、淡路島－大阪）に加え、瀬戸内方面への航路も対象とする

(3)対象者：一般県民（有料）

事業実施のイメージ



(R4.6.27 海上交通実証実験)



(船上コンテンツの例)



4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)	
クルージングMICE件数 (民間企業による実施)	5件		10件		15件	
	民間企業との調整 旅行商品の造成	検証 改善	民間企業との調整 旅行商品の造成	検証 改善	民間企業との調整 旅行商品の造成	

万博会場外駐車場（尼崎地区）を活用した にぎわいづくり

企画部、土木部、
阪神南県民センター

1. 事業概要

万博期間中、1日最大1万人近い人が利用する会場外駐車場を、パークアンドライドの乗り換えだけで終わらせずに、賑わいづくりの場にするため、県内各地のグルメや体験メニューなどによりひょうごの魅力を発信する「ひょうご万博楽市・楽座」を開催

2. R7年度の実現内容

(1) 実施場所

尼崎フェニックス事業用地会場外駐車場隣接地

(2) 実施内容

- ・ 県内各地のグルメの提供
- ・ 特産品の販売
- ・ フィールドパビリオン関係の体験メニュー など

(3) 対象者

会場外駐車場利用者 など

3. R6年度実施内容【147百万円】

(1) インフラ整備等【138百万円】

整地・上下水道・電気等のインフラ整備

(2) イベント実施経費【9百万円】

イベントの企画・準備等



4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
内容検討・計画決定	地域等の意見聴取→計画検討	計画決定	
イベント開催		出展・出演者調整	開催
インフラ整備		積算・入札 工事	

【再掲】

兵庫津ミュージアムを核とした兵庫五国の魅力発信

1. 事業概要

博物館の非日常空間を活かし、兵庫五国の魅力を発信する“ユニークベニューイベント”等を開催するとともに、次代を担う若者、ファミリー層や観光客など、さらなる誘客を促進

2. R7年度の実現内容

(1)兵庫の歴史・文化・産業に根ざした舞台芸術・体験イベントの実施

- ①兵庫ゆかりのアーティストによる“ユニークベニューイベント”開催
- ②万博コンテンツ等の体験イベント
[ひょうごフィールドパビリオンプレイヤーによるワークショップ開催 等]
- ③県内大学生、インフルエンサー等による五国の魅力発信プロモーション（SNS活用）

(2)国内外からの誘客促進

- ①学校教育旅行用のオーダーメイド型見学プログラムの開発
- ②兵庫津周遊プログラムの開発
- ③広域的な観光コンテンツ（例：朝鮮通信使等）の活用
- ④SNS等を活用した海外向け情報発信
- ⑤AI技術を活用した博物館多言語音声ガイドシステムの活用



(ユニークベニューイベント事例)

3. R6年度事業費【6百万円(内数)】

- ①舞台芸術・体験イベント実施（ユニークベニューイベントの開催等）1百万円
- ②国内外からの誘客促進(観光イベントへの出展等) 4.8百万円（内数）

※夏季に「万博とフィールドパビリオン」をテーマに企画展を開催



初代県庁館

ひょうごはじまり館

(兵庫津ミュージアム外観)

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
舞台芸術・体験イベント	企画・調整	事業実施	
国内外からの誘客促進	企画・調整	プログラム開発・実施	

多様な人々が安心して万博に参加できる基盤づくり

～誰一人取り残さない「ユニバーサルひょうご」の実現～

福祉部

【再掲】

1. 事業概要

2025年大阪・関西万博の開催に向け、誰一人取り残すことなく、一人一人の多様性を認め合いながら、全ての県民が障害の有無や言語、文化等の違いに関わりなく、自らの意思でいきいきと社会参加できる「ユニバーサルひょうご」の実現を目指し、全ての人が社会的に包摂された状態で、安心して万博に参加できる基盤づくりを推進する。

2. R7年度の実現内容

国内外からの多様な来訪者（障害のある方、高齢者、妊婦、小さな子ども連れの方、まちなかで困っている人等）に対する県民のホスピタリティの向上（誰一人取り残すことなく迎える万博）

3. R6年度実施内容【13百万円】

- (1)ひょうごから発信！みんなの声かけ運動の普及強化【4百万円】
ユニバーサルひょうご普及啓発強化員による普及啓発、ヘルプマークの普及
- (2)みんなが輝く「ユニバーサルひょうご」出前講座【2百万円】
県民のホスピタリティ向上のための出前講座を実施（一般・学校・企業等）
- (3)観光事業者等向け手話講座、安全確保実践研修、セミナー【7百万円】
観光業従事者等を対象に手話講座、視覚障害者の安全確保実践研修、盲ろう者の社会参加促進セミナー等を実施



4. ロードマップ

項目	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）
①普及啓発の強化	ユニバーサルひょうご普及啓発強化員による普及啓発、ヘルプマークの普及		多様な人々が活躍できる社会・誰一人取り残されない社会づくりの成果の発信（フォーラムの開催）
②出前講座の実施	出前講座の実施と、受講者による地域や職域での実践活動の促進		
③手話講座、視覚障害者の安全確保研修、盲ろう者社会参加促進セミナー等の実施	手話講座の実施による、手話ができる県民の増加と視覚障害者の安全な移動の確保、盲ろう者の社会参加促進		

次世代モビリティ(空飛ぶクルマ)の運航

1. 事業概要

空の移動革命をもたらす新たなモビリティとして、空飛ぶクルマへの関心が高まっている。本県は、県内の多様なフィールドを活かしてドローンの社会実装で先駆的な取組を進めてきた。その知見を生かし、空飛ぶクルマにおいても、2025年大阪・関西万博を契機に社会実装を全国に先駆けて進めるべく、事業者との連携のもと、取組を進める。

2. R7年度の実現内容

- 2025年大阪・関西万博を契機として、空飛ぶクルマの社会実装の実現、県内空飛ぶクルマ産業のエコシステムの形成に向け、万博時には尼崎フェニックス事業用地からの2地点間運航を目指す



▲空飛ぶクルマの運航イメージ (丸紅㈱提供)



▲尼崎フェニックス事業用地を活用した2地点間運航

3. R6年度実施内容【117百万円】

(1) 社会受容性の向上【0.6百万円】

- 「次世代空モビリティひょうご会議」を設置し、空飛ぶクルマの課題や今後の可能性などを関係者と意見交換するとともに県内の社会受容性の向上・気運醸成につなげる

(2) デモフライト用暫定ポート整備【26百万円】

- 万博時に飛行が計画されている尼崎フェニックスのデモフライト用暫定ポートにおいて運航に必要な安全柵を設置

(3) 事業開発支援【90百万円】

- 県内の多様なフィールドを活用した実証事業を通じて事業開発を支援



▲尼崎フェニックス事業用地に整備された暫定ポート



▲暫定ポート完成イベント (令和5年11月開催)

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
社会受容性の向上		次世代空モビリティひょうご会議の運営 空飛ぶクルマ研究室による情報発信	試験飛行
デモフライト用暫定ポート整備		フェニックスでの暫定ポート整備・万博時の飛行に必要な施設への整備支援	
事業開発支援		実証事業を通じた事業開発支援	

海外からの誘客促進 ～海外事務所等を活用したPR強化～

1. 事業概要

海外において、友好姉妹都市・西豪州等における交流促進事業におけるトップセールスや海外事務所の広報・プロモーション活動等により、フィールドパビリオンのPR及び誘客促進を図る。

国内では、草の根国際交流等を促進することで、海外からの誘客促進に向けた機運醸成と交流活動の強化を推進する。
 万博期間中には、友好州省訪問団のフィールドパビリオンへの誘客を図るとともに、国際フロンティア産業メッセ「国際ゾーン」を設置し、海外事務所が調整する外国企業等との海外ビジネスマッチング等を展開する。

2. R7年度の実現内容

- ・知事の海外トッププロモーション、海外事務所における広報・プロモーション等、機会を捉えたPR実施による海外からの誘客促進
- ・関係市町・団体との連携強化

3. R6年度実施内容【15百万円】

- (1) 大阪・関西万博に向けた友好姉妹都市・西豪州等における交流促進事業（2024(R6)年 夏）【9百万円】
 フィールドパビリオンへの誘客促進を図るため、シドニー、メルボルン、クアラルンプールでトッププロモーションを実施。
- (2) 海外事務所における広報・プロモーション（2023(R5)年～2025(R7)年）【6百万円】
 旅行博等を通じた誘客促進や海外ビジネスマッチング創出に向けて、海外事務所における広報・プロモーション活動を強化
- (3) 草の根国際交流等の促進を通じたPR（2023(R5)年～2025(R7)年）【既定経費対応】
 草の根国際交流（スポーツ、文化、青少年等）や、東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン交流フォローアップ、二国間交流を誘客につなげるため、連絡会議等を通じて関係市町・団体における交流事業の活性化を促進
- (4) 友好姉妹州省からの訪問団受入と2025国際フロンティア産業メッセ「国際ゾーン」の展開（2025(R7)年）【既定経費対応】
 友好州省訪問団のフィールドパビリオン体験を支援するほか、2025 国際フロンティア産業メッセにて「国際ゾーン」を設置し、万博出展海外企業および海外事務所経由の海外企業とのビジネスマッチングや友好州省のPR展示を展開

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
(1) 大阪・関西万博に向けた友好姉妹都市・西豪州等における交流促進事業		企画立案 → 実施	
(2) 海外事務所における広報・プロモーション		海外事務所が各種イベント等で実施	
(3) 草の根交流等の促進を通じたPR		関係市町・団体との連携強化	
(4) 友好姉妹州省からの訪問団受入 国際フロンティア産業メッセ「国際ゾーン」の展開		訪問団受入	メッセでの海外ビジネスマッチング等

「兵庫テロワール旅」誘客のための受入環境充実

1. 事業概要

インバウンドの本格展開及び2025年大阪・関西万博開催を見据え、体験型コンテンツのさらなる磨き上げを行い、誘客促進・受入環境充実に図り、ひょうごフィールドパビリオンにもつなげる。また、体験型コンテンツを提供・販売する事業者に対し、旅行商品化等の販売活動及び受入環境の整備を支援する。

2. R7年度の実現内容

フィールドパビリオンを含む観光コンテンツのさらなる磨き上げによる兵庫県への誘客促進及び旅行商品の販売促進

3. R6年度実施内容【32百万円】

(1) 対象

- ①「兵庫テロワール旅」コンテンツを提供する事業者等
- ②ひょうご観光本部ツーリズムプロデューサー指導の下「兵庫の魅力再発見コンテンツ」を開発する事業者

(2) 支援内容

- ①コンテンツの磨き上げ等【4百万円】
コンテンツの磨き上げ、海外及び全国展開のための観光本部ツーリズムプロデューサー等による現地指導、ガイド育成、販売実績等を踏まえたコンテンツの見直し等を実施
- ②サイクルツーリズム早期収益化【4百万円】
R2年度～R4年度まで実施してきたサイクルツーリズム事業のコンテンツについて、商品化を促進し、収益化に結びつける取組みを実施
- ③誘客促進【17百万円】
インバウンドを想定したファミツアーや商談会、国内外プロモーションの展開
- ④受入環境整備支援【7百万円】
WEB・SNSでの多言語情報発信、施設の多言語案内、情報通信環境の充実等に対する補助



(写真)有馬温泉での現地指導



(写真)現役サイクルガイドによる現地指導

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
旅行商品企画・販売		テロワールコンテンツの磨き上げ	
		販売実績等を踏まえたコンテンツ見直し	
受入環境の充実		販売・宣伝活動	ガイド実践
	ガイド育成、多言語化、情報通信環境の充実 等		万博開催

広域観光コンテンツ造成等周遊促進

1 事業概要

(1) 万博に向けた観光プロモーション

2025年大阪・関西万博開催を見据え、令和5年度に造成した兵庫・大阪両府県の広域観光コンテンツのプロモーション・販売促進を行うことにより、観光分野における連携を一層深めるとともに、さらなる観光客の誘客に繋げる。

(2) 万博プラス関西観光推進事業

万博来場者を関西観光に誘うため、万博のテーマ等を踏まえた旅行商品・コンテンツ造成、プロモーション、旅ナカ・サポート等の情報発信等を一連の事業として一体的かつ総合的に、2023年度から2025年度の3か年において集中的に実施する。

(3) 観光型MaaS等を用いた周遊観光の推進

2025年大阪・関西万博を見据え、観光型MaaSを活用し、複数の公共交通や移動サービスを最適に組み合わせたストレスフリーな観光の実現を目指し、周遊観光の促進に繋げる。

2 R7年度の実現内容

万博来場者の兵庫県への誘客及び周遊促進

3 R6年度実施内容【25百万円】

(1) 万博に向けた観光プロモーション【10百万円】

①兵庫・大阪両府県の広域観光コンテンツのOTAでの販売の継続、②ツリス△EXPOジャパン2024への出展によるプロモーション・販売促進

(2) 万博プラス関西観光推進事業【5百万円】

①EXPO関西旅行商品の造成に向けたコンテンツの多岐化、データヘルス化、②国内外商談会等への参加、デジタル広告等によるプロモーションの実施

③安心・安全情報や観光モル・マー等の情報提供手法の検討、④関西広域観光情報ゲートウェイの構築

(3) 観光型MaaS等を用いた周遊観光の推進【10百万円】

①観光型MaaSへの観光施設の登録、②インフルエンサーを活用したプロモーションの実施

4 ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
万博に向けた観光プロモーション	体験型コンテンツ造成 モデルルート作成		
		OTA販売、ツリス△EXPOジャパン2024への出展（令和6年9月26日～29日開催予定）	
万博プラス関西観光推進事業	周遊コース造成	販売促進業務等 プロモーション等情報発信	万博開催
観光型MaaS等を用いた周遊観光の推進		観光施設の登録	
		プロモーション	

1. 事業概要

位置情報ゲーム等を活用し、ひょうごフィールドパビリオンのプレミアプログラムを中心に、フィールドパビリオンと観光資源をつなぐ、デジタルスタンプラリーを実施。

あわせて、スタンプラリー参加者の移動データやSNS投稿を通じた旅の印象を収集、分析を行い、地域の魅力向上策や移動手段改善策の検討などに活用し、万博開催年に向けて、より効果的な県内周遊を実現する。

2. R7年度の実現内容

- ・フィールドパビリオン巡る魅力的な観光コースを提示

3. R6年度実施内容【10百万円※R5年度12月補正】

(1)デジタルスタンプラリーの実施【7百万円】

- ・プレミアプログラムを中心としたデジタルスタンプラリーを企画
- ・FPと県内観光資源を結びつけ、魅力的な観光モデルコースを造成

(2)人流（GPS）データの分析【3百万円】

- ・ラリー参加者のGPSデータ及びSNS投稿を収集・分析し、モデルコースの良い点や改善点等を抽出
- ・分析を踏まえてモデルコースをブラッシュアップ、さらなる魅力向上につなげる

フィールドパビリオン・デジタルスタンプラリー イメージ

・ラリースポット素案

尼崎運河クルーズツアー（尼ロック【FPP】→尼信貯金博物館→尼崎城→西宮神社→西宮郷酒蔵【FP】）

龍野に息づく、醸造体験および蔵見ツアー（圓光寺→発酵Labcoo→大正ロマン館→龍野城→龍野旭橋）

・プレゼント景品イメージ

tamaki niime製品、豊岡鞆、コウノトリ育むお米などFP関連の景品を準備



4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
デジタルスタンプラリー実施	地元調整	キャンペーン実施 データの収集・分析	FPを巡るモデルコースを提示

1. 事業概要

国内外から観光客の入込が想定される2025年大阪・関西万博に合わせ、世界共通の課題であるSDGsの取組支援を通じて、地場産品の魅力向上を図り、地場産業のブランド価値向上を推進する。

2. R7年度の実現内容

- ・地場産地のSDGsの取組による地場産品の魅力向上
- ・インバウンド需要を見据えたSDGs商品の開発

3. R6年度実施内容【45百万円】

- ・産地組合及び産地企業のSDGsの取組を支援

産地組合向け	産地企業向け
ア SDGs計画策定支援 ①導入に向けた研究（先進事例調査等）・仕組みづくり・ソフト作成 ②推進人材の育成 等	同左
イ SDGs実践支援 ①新素材・技術・製造方法改良研究 ②設備導入 ③商品開発 等	
ウ SDGs発信支援 ①コンテンツ作成 ②プロモーション ③関連イベント開催、展示会出展 等	



▲漁網再生生地を利用した靴（ケミカルシューズ）



▲残糸を再利用した生地（播州織）

4. ロードマップ

項目	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）
地場産業のSDGs取組推進	SDGs計画策定 SDGs実践	SDGs発信	【2025大阪・関西万博】 フィールドパビリオンとして展開

ひょうごの「農」「食」輸出拡大の加速化

1. 事業概要

人口減少により国内マーケットの縮小が見込まれる中で、県産農林水産物等の国内から海外市場への展開を図るため、平成28年度からパリ（フランス）、令和2年度からはマレーシアにおいてプロモーションを実施している。

今後は、大阪・関西万博の開催に向けて、食材のPRを通じたインバウンドの呼び込みなど、県産農林水産物のより一層の認知度向上を図る。

2. R7年度の実現内容

県産農林水産物等の海外展開が拡大している。

3. R6年度実施内容【5百万円】

・知事トッププロモーションセールス【5百万円】

東アジアにおける本県産農林水産物等のより一層の需要と継続的な取引の創出を図るため、知事のトップセールスによるプロモーションとして、シェフやバイヤー、メディア等を対象として、ブランド戦略策定品目を使った料理を提供するレストランフェアをマレーシアにおいて開催する。



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
知事トッププロモーション		レストランフェア	

但馬牛・神戸ビーフの情報発信拠点の連携強化

1. 事業概要

“但馬牛” や“但馬牛と人” が育んだ文化・歴史などについて情報発信する「但馬牛博物館」と、神戸ビーフの魅力や美味しさの秘密を発信する「神戸ビーフ館」という2つの情報発信拠点が協力、連携したイベントを実施することで、一体的・総合的な但馬牛・神戸ビーフの情報発信体制を構築する。

2. R7年度の実現内容

- ・但馬牛に関する歴史的資料等の調査・研究と情報発信によるブランド価値の強化
- ・神戸ビーフの情報発信力を強化し、消費拡大を図り、その素牛である但馬牛の生産拡大による畜産振興
- ・世界農業遺産に認定された「人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」の認知度向上



3. R6年度実施内容【3百万円】

- (1) フィールドパビリオン但馬牛博物館の展示物活用事業【3百万円】
但馬牛博物館における展示物を更新し、世界農業遺産に認定された地域の取り組みについて情報発信
- (2) 但馬牧場公園機能強化事業
 - ①但馬牛とのふれあいプログラムの実施
 - ②但馬牛博物館での企画展の開催
 - ③オンライン講座の開催、校外学習の受入
 - ④「人と自然の博物館」との共同イベントの実施
- (3) 但馬牛・神戸ビーフ発信力強化事業
 - ①神戸ビーフ講座、神戸ビーフキッズセミナーの開催
 - ②但馬牛・神戸ビーフ応援大使によるPR



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
フィールドパビリオン但馬牛博物館の展示物活用事業		展示物の更新	
但馬牧場公園機能強化事業	各プログラムの実施	各プログラムの実施	各プログラムの実施
但馬牛・神戸ビーフ発信力強化事業	プログラムの連携を図り、事業内容をブラッシュアップ		
	世界農業遺産「人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」の情報発信		

1. 事業概要

港湾施設を機能強化し、旅客船やスーパーヨットの受入れ環境の充実により、万博を契機に兵庫県域の大阪湾ベイエリアに人を呼び込む

2. R7年度の実現内容

・淡路交流の翼港

旅客船の入港時の安全性や利便性が向上

・新西宮ヨットハーバー【ビジターバース】

スーパーヨットの受入れ環境が改善

3. R6年度実施内容【200百万円(内数)】

①淡路交流の翼港 160百万円(内数)

浮棧橋の改良や護岸の高上げ等の周辺整備

②新西宮ヨットハーバー【ビジターバース】 40百万円(内数)

老朽化した電気設備等の改修



浮棧橋(現況)

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①淡路交流の翼港	設計	工事 ・浮棧橋改良 ・護岸嵩上げ等の周辺整備	
②新西宮ヨットハーバー【ビジターバース】	計画策定・設計	工事 ・電気設備等改修	

県立都市公園や夢舞台における万博及びひょうごフィールドパビリオンとの連携

1. 事業概要 兵庫県立都市公園の魅力アップと、関係団体や周辺施設と連携した企画・運営の実施及び多言語デジタルガイドの導入により万博訪問客を呼び込む

2. R7年度の実現内容

- (1) 有馬富士公園・舞子公園
 - ・有馬富士公園の自然や芸術、舞子公園の景観や歴史等各公園の特徴を活かしたプログラムやイベントを実施
- (2) 尼崎の森中央緑地・舞子公園・淡路島公園
 - ・Free Wi-Fiを設置し、アプリや現地看板により多言語での魅力スポットを紹介
- (3) 夢舞台等
 - ・温室の新たな魅力を創出し、万博に向けた集客を強化

3. R6年度実施内容【38百万円】

- (1) 有馬富士公園・舞子公園【25百万円(内数)】
 - ・老朽化した舞子海上プロムナードの内装を改修する美装化工事を実施
 - ・有馬富士公園の自然や芸術、舞子公園の景観や歴史等各公園の特徴を活かしたプログラムやイベントを実施
- (2) 尼崎の森中央緑地・舞子公園・淡路島公園【5百万円】
 - ・多言語デジタルガイドアプリの運用開始
 - ・Hyogo Free Wi-Fiの設置
- (3) 夢舞台等【33百万円】
 - ・シンガポール植物園と連携した展示
 - ・シンガポールガーデンフェスティバルへの出展
 - ・リニューアルオープン式典・イベントを開催
 ※老朽化対策として、空調機器・熱源設備の設備更新等を別途実施



植樹活動
(尼崎の森中央緑地)



風のミュージアムで開催した「元気のぼり」
(有馬富士公園)



舞子海上プロムナード宿泊ツアー
(舞子公園)



淡路夢舞台温室

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
(1)有馬富士公園・舞子公園	イベント・ツアー企画	イベント・ツアー実施 海上プロムナード美装化工事	イベント・ツアー実施
(2)尼崎の森・舞子公園・淡路島公園	アプリ開発・サイン設置	アプリ運用開始 Hyogo Free Wi-Fi設置・運用開始	
(3)夢舞台等		企画・実施	開館

淡路花博25周年記念花みどりフェア

1. 事業概要

国際園芸造園博「ジャパンフローラ2000」の開催から25年の節目を迎え、2010年以降、5年毎の花みどりフェアを通じて培ってきた「人と自然の持続的な共生のあり方」をレガシーとして継承・発展させるとともに、万博の機会を捉えて国内外に効果的に発信していく。

2. R7年度の実現内容

大阪・関西万博のプレイベントとして、淡路花博25周年記念花みどりフェアを実施

(1) 期 間 令和7年3月20日（木・祝）～4月27日（日）〔39日間〕

(2) メイン会場 島内3市

① 淡路会場(淡路夢舞台、国営明石海峡公園)

② 洲本会場(洲本市中心市街地)

③ 南あわじ会場(淡路ファームパーク イングランドの丘)

(3) 開催テーマ 「自然と生きる、いのちをつなぐ淡路島」

(4) マスコットキャラクター

「ジャパンフローラ2000」のマスコットキャラクター「ユメハッチ」を活用

(5) 主 催 淡路花博25周年記念事業実行委員会



淡路会場
(国営明石海峡公園等)



洲本会場
(洲本アルチザンスクエア等)



「ユメハッチ」



南あわじ会場
(淡路ファームパーク イングランドの丘)

3. R6年度実施内容

実施計画の策定等を通じて、淡路島の一番の魅力である花とみどりや、島内に根付いているSDG s の取組等のPRにより、国内外から多数の観光客を本県に誘客し、大阪・関西万博の機運醸成をはかる「ブースター機能」の役割を果たす仕掛けを検討

項 目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
企画委員会・実行委員会 計画等検討 広報活動等	設置 基本計画	随時実施 実施計画 実施設計 会場整備 広報・協賛活動 等	フェア 開催 (3/20～ 4/29) 実績報告

ミュージアムロード魅力発信事業の実施

1. 事業概要

2025年大阪・関西万博において、兵庫県内の主要会場となる兵庫県立美術館を含むミュージアムロードの魅力の磨き上げや発信を行うことにより、周辺地域での万博開催への機運醸成を図る。

2. R7年度の実現内容

美しくリニューアルした野外アート作品や、沿線住民の美化意識向上等により、兵庫県における万博の窓口となるこのエリアにふさわしい受入機運を醸成する。

3. R6年度実施内容【4百万円】

(1) 野外アート作品のリニューアル及び関連イベントの実施【3百万円】

① 野外作品（Sun Sister）の補修

ヤノベケンジ作「Sun Sister」(2015年、県立美術館敷地内に設置)の補修

② ヤノベケンジ氏による講演会

作品のリニューアルに合わせ、作者による講演会等を実施する

(2) ワークショップ「ミュージアムロードのゴミを拾って作品を作ろう」【0.5百万円】

ミュージアムロードエリアの野外作品のPR・清掃と、沿線美化意識の啓発を兼ねた参加型のワークショップ等を開催（年2回）



ヤノベケンジ《Sun Sister》2015年



ワークショップ及び清掃イメージ

4. ロードマップ

項目	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
ミュージアムロード魅力発信事業	<p>野外アート補修</p> <p>講演会</p> <p>ワークショップ</p> <p>ワークショップ</p>	<p>万博の開催</p> <p>リニューアルした野外アートの展示</p> <p>ワークショップ</p> <p>ワークショップ</p>

阪神臨海部での次世代モビリティの社会実装

1. 事業概要

空飛ぶクルマのデモフライト用暫定ポート開設に伴い、実証実験が進められていることや、民間事業者が物流トラックの自動運転実証実験を臨海部で計画していることなどを踏まえ、臨海部を次世代モビリティの社会実装の場であることを全国に発信する。

また、今後増加が予想されるFCトラック・バスにも対応した水素ステーションの整備を促進し、次世代モビリティが走行する環境先進地域としての阪神臨海部をPRする。

2. R7年度の実現内容

- ・空飛ぶクルマのデモフライト
- ・物流トラックの自動運転実証実験
- ・水素ステーションの整備促進

3. R6年度実施内容【-百万円】

- (1)空飛ぶクルマの社会実装への取組
- (2)物流トラックの自動運転実証実験
- (3)水素ステーションの整備促進



4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
空飛ぶクルマのデモフライト		関係者との協議・調整・試験飛行	
物流トラックの自動運転		現地調査	物流トラックの自動運転実証実験
水素ステーションの整備促進		関係者との協議・調整	

マリンスポーツを活用した阪神臨海部活性化

1. 事業概要

マリンスポーツに適した環境や活動拠点がある阪神臨海部の特性を活かし、官民協働で地域が一体となり、競技団体等の交流や大会開催時の賑わい支援等に万博を契機として取り組むことにより、マリンスポーツの拠点としての知名度をエリア全体で向上させ、観光資源化を図る。

2. R7年度の実現内容

- ・シンクロイベントの実施（海の甲子園など）

3. R6年度実施内容【3百万円】

- (1)関係者連絡会の開催【0.2百万円】
一般的なPRに向けた検討や民間団体とのネットワークづくりを実施
- (2)イベント開催・賑わいづくり支援【再掲】
「阪神南ふるさとづくり応援事業」を活用（万博枠：30万円/件）
- (3)マリンスポーツ体験会の開催【0.5百万円】
マリンスポーツ未経験者を対象に開催し、競技人口の増加を促進
- (4)マリンスポーツの普及啓発【2百万円】
webサイト、広報リーフレットの作成



4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
SNS動画投稿・フォトコンテスト		コンテスト開催・展示会	
大会開催時賑わい支援		大会開催時のイベント開催・賑わいづくり支援(随時)	シンクロイベントの実施
関係者連絡会議		連絡会の開催	

1. 事業概要

大阪・関西万博の開催に向けて、阪神南地域の特徴・資源を活かしつつ、内外から人を呼び込み、様々な交流や賑わいの創出に向けた取組に対する支援を行うことにより、フィールドパビリオンの造成・磨き上げや、シンクロイベントの実施につなげる。

2. R7年度の実現内容

- ・民間団体によるフィールドパビリオンの実施
- ・シンクロイベントの実施（海の甲子園など）

3. R6年度実施内容【2百万円】

(1)大阪・関西万博に向けた交流促進支援【2百万円】

※ 阪神南ふるさとづくり応援事業に万博枠を設定

【事業例】

マリンスポーツによる地域振興イベント
 尼崎運河の水辺空間の魅力発信
 インバウンド誘客を図る体験型・周遊滞在型のプログラムの実施

①補助金額

上限30万円（補助率：定額）

②審査方式

審査会による書類審査及びヒアリング審査



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
募集・審査	募集 審査会	募集 審査会	フィールドパビリオン、 シンクロイベントの実施
賑わいづくり支援	随時	随時	

1. 事業概要

温室効果ガスの産業排出の多い臨海部の工場地帯において、企業による脱炭素化の取組を推進し、環境と産業が共生する新たなベイエリアの発展をめざすとともに、万博会場外駐車場施設等において、地域の脱炭素化推進企業の取組を発信する。

2. R7年度の実現内容

- ・「尼崎21世紀の森構想」をはじめとした様々な取組を継続し、成果を国内外へ発信
- ・万博期間中には、会場外駐車場施設等において、尼崎市などとも連携し、地域の脱炭素化推進企業の取組を発信

3. R6年度実施内容【-百万円】

- (1) 「森と人と水が共生する」まちづくりに地域一体で推進してきた「尼崎21世紀の森構想」の取組成果の発信と環境学習の拡充【再掲：1百万円】
- (2) 企業の省エネ・再エネ化に向けた設備導入支援
- (3) 脱炭素推進企業の取組をPRするため、オープンファクトリーの展開支援
- (4) 物流倉庫の集積に伴う路上駐車等の課題を解決に向けた地域連携の取組を検討



4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
環境学習の推進	取組成果の発信、環境学習の実施		
省エネ・再エネの取組支援	取組支援の検討・実施		
オープンファクトリー展開支援	取組支援の検討・実施		
路上駐車等の課題解決	取組支援の検討・実施		
推進企業の取組発信			取組の発信

1. 事業概要

兵庫県を經由した大阪・関西万博へのアクセス道路及び、大阪・関西万博から兵庫県への道路や案内標識を整備し、兵庫県を訪れる方々及びアクセス道路沿道の環境改善を図る。

2. R7年度の実現内容

- ・兵庫県を車で訪れる方々の円滑な交通の確保
- ・大阪・関西万博による交通量増加に伴う騒音・振動を抑制し、沿道環境の改善

3. R6年度実施内容【182百万円(内数)】

(1)アクセス道路の環境改善

①舗装修繕【172百万円(内数)】

わだち、クラックなど損傷の激しい県道の舗装修繕

②区画線復旧【8百万円(内数)】

区画線が消えかけている県道の区画線復旧

③違法駐車対策【2百万円(内数)】

違法駐車対策のため、警告看板の設置



違法駐車警告看板



標識柱添架

場外駐車場への案内標識



(2)万博会場外駐車場への案内標識の設置

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
アクセス道路の環境改善		工事	
案内標識の設置		案内標識の設置位置及び表示内容協議	案内標識の設置

【再掲】

1. 事業概要

近年世界的に再評価されている、阪神間モダニズムの文化風土を背景に芦屋で発祥した芸術「具体」をはじめ、フィールドパビリオンに認定されている西宮の酒蔵や尼崎城など、阪神南エリアの個性豊かなコンテンツの魅力を発信することにより、認知度向上や万博来場客の地域への誘客を図るとともに、地域のブランド力向上に繋げる。

2. R7年度の実現内容

- ・「具体」所蔵美術館等による具体作品の連携展示や、“GUTAI”マップを活用したゆかりの地を巡るまち歩き等のイベントを開催
- ・地域団体や企業、学校等と共に魅力発信イベントを開催し、万博後も地域での連携・協働ができる関係性を構築



『具体』体験会

3. R6年度実施内容【7百万円】

- (1)「具体」魅力発信推進委員会の開催【0.3百万円】
美術館の連携(所蔵作品展)、阪神間“GUTAI”マップ作成や関連イベントの企画運営への助言等
- (2)魅力発信ツールの作成・まち歩きイベントの実施【5百万円】
「具体」作品所蔵美術館、作家や活動にゆかりの地などを掲載したマップの作成・更新や、阪神間モダニズムや「具体」の魅力を体感できるまち歩きを開催
- (3)万博プレイベントの開催【1百万円】
万博に向けた機運醸成を図るため、地域の魅力を発信するプレイベントを開催（阪神間モダニズム浸透イベントなど）

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
具体魅力発信委員会	美術館の連携、マップ作成や関連イベントの企画・運営への助言		
具体による地域ブランド力の向上	・デジタル版マップ作成・追加・情報更新 ・まち歩きイベント開催		・美術館の「具体」連携展 ・まち歩きイベント開催
機運醸成イベントの開催	万博プレイベントの開催等		万博イベントの開催

1. 事業概要

古くから水運に利用されてきた尼崎運河は、尼崎臨海部の貴重な財産であり、尼崎21世紀の森構想が掲げる「森と人と水が共生する」まちづくりを推進するため、地域や市民との協働により運河を核としたその魅力を発信する。

2. R7年度の実現内容

(1) 魅力ある水辺空間の創出

- ・フィールドパビリオンとしての尼崎運河クルーズの本格実施、万博と連動した運河賑わいイベントの展開
- ・尼崎の森中央緑地第三工区での民間活力による賑わい創出

(2) 尼崎運河の拠点整備、環境学習の推進

- ・これまでの21世紀の森づくりの取組成果を国内外に発信
- ・北堀チャナルベースの交流機能の強化、および県内外から環境学習への参加者の拡大



尼崎運河クルーズ

3. R6年度実施内容【6百万円】

(1) 尼崎運河魅力アップ事業【4百万円】

市民団体等と連携した賑わいイベントの開催、尼崎運河の拠点整備

(2) 環境学習の新たな展開【1百万円】

企業・市民団体等との連携の場づくり、自然共生サイトの認証（R5）を踏まえた環境学習に係るフォーラムの開催

(3) 尼崎21世紀の森構想国際展開事業【0.8百万円】

多言語による動画作成や体験活動のプログラム作成等による森構想の国内外への発信

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
魅力ある水辺空間の創出	尼崎運河クルーズ社会実験 SUP拠点整備、第三工区賑わい創出に向けた検討・調整	尼崎運河クルーズの本格実施、運河賑わいイベントによる万博の機運醸成	尼崎運河クルーズの本格実施、万博と連動した運河賑わいイベントの展開
尼崎運河の拠点整備、環境学習の推進	尼崎運河の諸元調査、環境学習フェスティバル実施	第三工区民間活力による賑わい創出	尼崎運河の拠点整備・修繕及び環境学習の新たな展開

1. 事業概要

阪神北地域のテーマである「共創（コ・クリエーション）」や創造的再利用「アップサイクル」などの新しい取組を推進するため、民間の力も含めた多様なステークホルダーとの対話や連携によるネットワークづくりを進め、「阪神北SDGsプロジェクト」として具体的な取組を展開し、ひょうごSDGs Weekや大阪・関西万博の機会を捉えて発信する。

2. R7年度の実現内容

- ・ 阪神北地域SDGsネットワーク会議やSDGs実践活動の実施による連携環境づくりの推進
- ・ SDGsWeekや大阪・関西万博などの機会を捉えた情報発信

3. R6年度実施内容【2百万円】

(1) SDGs Week サステナブルチャレンジ

県民局若手職員チームと学生が中心となり、民間企業等と連携しながら、地域でSDGsの実践活動を推進するためのネットワークをつくり、継続的な取組につなげるプロジェクトを展開

① 阪神地域SDGsネットワーク会議の開催

県民局若手職員、学生、企業など多様なステークホルダーがつながり、連携して地域課題に応じた取組等を検討し実践活動につなげる

② SDGs実践活動の実施

ひょうごSDGs Week期間中に、絵本リユースプロジェクトやフードドライブなどの活動を実施

(2) 農福連携アップサイクルチャレンジ

万博フィールドパビリオン「アップサイクル展」（県立人と自然の博物館）と連動し、阪神北地域で進めている福祉事業所等のアップサイクルの取組による加工品等を広く発信

① アップサイクル体験イベント（プレイベント）の開催

阪神産黒大豆枝豆の規格外品を使用した加工品の試食や黒大豆さやもぎ体験等を通じて、アップサイクルの価値を実感してもらえるイベントを実施

② 「アップサイクル展」関連イベントの開催

県立人と自然の博物館と連携し、アップサイクルな取組を展示するイベントを開催



絵本リユースプロジェクト



阪神産黒大豆枝豆規格外品加工品

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
SDGs Week サステナブルチャレンジ		企画検討 事業実施 効果検証	企画検討 事業実施 効果検証
農福連携アップサイクルチャレンジ		企画検討 事業実施 企画 効果検証 検討	事業実施 FPのPR・誘客促進

1. 事業概要

2025年に開催される大阪・関西万博に向けて、特色ある「食」や「自然」、「歴史・伝統」等、東播磨地域の魅力を掘り起こすとともに、管内の「フィールド・パビリオン」の取組を情報発信し、交流人口の拡大、万博に向けた誘客促進、機運醸成を図る。

2. 実施内容

①東播磨地域の魅力を掘り起こすフォトラリーの実施

「みんなに自慢したい」「みんなに見てほしい」魅力を掘り起こし、地域への愛着や関心、シビックプライドの醸成

②ウェブサイト「まるごと東はりま」等での情報発信

東播磨地域の観光情報ポータルサイト「まるごと東はりま」を活用し、東播磨地域の「食」や「自然」、「歴史・伝統」各分野で「食べてみたい」、「行ってみたい」と思うものを選んで投票してもらう「東播磨地域名物・名所グランプリ2024（仮称）」を行う。また、地域の観光資源及び管内のフィールド・パビリオンの取組について、SNSや「まるごと東はりま」において情報発信を行い、広くPRする。

3. 令和6年度事業費：3百万円

<主な内容>

- ①フォトラリーの実施 0.9百万円
- ②情報発信 2百万円



R5年度フォトラリーのチラシ



フィールドパビリオン(工楽松右衛門旧宅)

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
①フォトラリーの実施	フォトラリーの実施	フォトラリーの実施	
②情報発信		情報発信	

西日本有数の産地「東播磨産麦類」の魅力発信

1. 事業概要

東播磨特産の大麦(シュンライ)は、西日本有数の生産規模を誇る重要な地域資源である。令和6年度以降、JAの大麦の受入れ体制が強化されることから、麦類の販路を有するJA兵庫南と協力して、販路の多角化を図るとともに、地元のZ世代の意見を大きく反映させるため、県立農業高等学校と共同で大麦の風味や特性を活かした新商品開発を進め、大阪・関西万博へ向けて大麦の魅力を発信し、さらなる生産拡大へつなげる。

2. R7年度の実現内容

- ・大阪・関西万博への来訪者等への東播磨産麦類の認知度向上
- ・Z世代の意見を反映させた新商品の開発

3. R6年度実施内容【1百万円】

(1) 販路多角化

- ・JAとの連携による販売促進フェアなどでの商品PR、販路の多角化
- ・生産者等に対する取組成果の情報共有による生産拡大に向けた意識醸成

(2) 新商品開発

- ・Z世代の意見を反映させた県立農業高校との連携による新商品開発・PR



麦秋風景

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
(1) 販路多角化	販路拡大対策		
	成果発表会	成果発表会	成果発表会
(2) 新商品開発	新商品開発・PR		

東播磨産農産物の魅力発信 ～大阪等でのマルシェ出店（展）～

1. 事業概要

東播磨地域では、イチジク、イチゴ、いなみ野メロン、トマト、キャベツ、スイートコーン、加古川和牛、ヘアリーベッチ米、加工品では加古川パスタなど多種多様な農畜水産物を生産している。この東播磨地域の豊かで多様な地域資源の認知度やブランド力の向上を図るため、都市部でのマルシェ出店（展）によるPR強化を図り、大阪・関西万博に向け国内外への魅力発信を推進する。

2. R7年度の実現内容

- ・大阪・関西万博の会場である大阪市における東播磨産農畜産物の認知度向上
- ・東播磨Z世代農業者等によるマルシェ出店による新規就農者や後継者同士の交流、情報共有の場の創出と万博に向けた機運醸成

3. R6年度実施内容【0.3百万円】

(1)東播磨産農畜水産物のブランド化推進【0.3百万円】

Z世代の農業者等を主体とした都市部（大阪市内）でのイベント、マルシェ等の出店（展）等による東播磨産農畜産物PRの促進



マルシェ出店風景（大阪市茶屋町・DCPR）

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
マルシェ出店等によるPR促進	大阪市内のマルシェへ出店（展） （東播磨産農産物PR支援） →	大阪市内等のマルシェへ出店（展） （東播磨Z世代農業者等の農産物PR支援）	

「農・食」「伝統産業」「歴史・文化」が創る 北播磨ツーリズムの推進

1. 事業概要

大阪・関西万博を見据え、北播磨の豊かな自然、多彩な農畜産物、伝統ある産業、歴史・文化等の地域資源を磨き上げながら、地域内外に魅力を発信し、交流人口や関係人口の拡大を図る。

2. R7年度の実現内容

フィールドパビリオンや観光拠点を結んだツアーやモデルコースの造成により北播磨ツーリズムの推進を図る。

3. R6年度実施内容【5百万円】

(1) 観光・体験ツアーの創出やモデルコースの提供【3百万円】

- ・地域の魅力あるツアーの創出や令和5年度に作成したボランティアガイド登録情報の共有・活用によりおもてなし力の向上を図る
- ・AI等を活用した広域観光モデルコースの提供

(2) VRによる観光PR

北播磨が誇る観光資源等を限りなく現実に近い臨場感をもって体験するVR動画により観光PRを行う。

(3) サイクリングコースの作成等【1百万円】

- ・これまで作成してきたサイクリングコースをスマートフォン等で閲覧できるようにするため、コースのデジタルマップ化を図る。
- ・播磨中央公園のサイクリングコースを発着点とした観光拠点を結ぶモデルコースを作成する。

(4) ゴルフツーリズム助成事業【0.8百万円】

ゴルフを含む複数のフィールドパビリオン等体験型観光と宿泊をあわせた旅行を実施する旅行事業者を支援する。また、旅行事業者と連携し、北播磨の魅力をPRする。

4. ロードマップ



モニターツアー（播州織工房館）

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
① 魅力ある観光・体験ツアーの創出、モデルコースの提供等	ツアーの創出 ボランティアガイドの登録	ツアーの創出・コースの提供 ボランティアガイドの活用	ツアーの創出・コースの提供 ボランティアガイドの活用
② VRによる観光PR	動画作成・PR	動画作成・PR	動画作成・PR
③ サイクリング事業	サイクリングイベント	サイクリングコースのデジタルマップ作成・供用	
④ ゴルフツーリズム事業	外国人宿泊者の交通費を支援	ゴルフを含む宿泊旅行実施事業者に対する支援及び連携したPR	

1. 事業概要

地域団体が地域の課題解決に向けた取組をより活発に行うことができるよう、地域主導のもと「地域づくり活動応援事業」の取組を進める。2025年大阪・関西万博の開催に合わせて、「ひょうごフィールドパビリオン」の展開を促進するため、「万博推進枠」を設置し、地域独自のSDGsの取組や大阪・関西万博に関するイベント等を支援する。

2. R7年度の実現内容

各地域において、関係人口の増加・相互交流が進み、地域活動の充実や新しい活動が展開される。

地域の特色あるスペースを活用したアートワークショップを開催し、新たな魅力を発信する取組



3. R6年度実施内容【9百万円】

大阪・関西万博に向けた機運醸成や「ひょうごフィールドパビリオン」、SDGsに関する取組等を実施する地域団体に対して、特別枠を設置し支援を行う。

<主な内容>

①補助金

万博推進枠：1百万円

補助対象
事業例



様々な地域課題をSDGsの目標に当てはめ、解決に取り組むイベントの一部



人間そっくりのかかしを展示し、地域の魅力を体験・発信するイベント

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
①補助金		特別枠「万博推進枠」の設置	ひょうごFPとして本格実施

関西、瀬戸内インバウンド観光客をターゲットとした 中播磨多言語パンフレット制作事業

1. 事業概要

コロナ5類移行後の旅行意欲の高まりがうかがえる中、令和6年度以降、大阪・関西万博、瀬戸内国際芸術祭、WMG関西など、国内外や県内外からの誘客の機会が控えている。この機会に乘じ、関西、四国地方を訪れる外国人観光客を中播磨地域に呼び込み、中播磨全体の周遊及び滞在時間の延長を促すため、中播磨ツーリズムガイドマップの多言語版を作成し、配布する。

2. R7年度の実現内容

2025年までに多言語パンフレットを観光案内所などに配布、設置し、大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭に訪れる外国人観光客の中播磨地域への誘客を促進する。

3. R6年度実施内容【3百万円】

(1) ツーリズムガイドマップの翻訳、印刷【3百万円】

翻訳予定言語：英語、中国語(繁体字)、韓国語

(2) ツーリズムガイドマップの配布【0.2百万円】

各イベント会場へのアクセス地点や、隣県も含め観光協会等へ配布



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
ガイドマップの翻訳 ・印刷		ガイドマップ作成	
ガイドマップの配布			配布、随時補充

クルーズ見本市への出展

1. 事業概要

コロナ終息後、世界的にクルーズ需要が高まり、日本は旅行先として人気が高いことや、大集団の寄港による経済効果が大きいことから、最もPR効果が高いとされるクルーズ見本市「シートレード・クルーズ・グローバル」に参加し、クルーズ客船誘致に努める。

更に、訪日外国人が増加する2025年の大阪・関西万博を見据え、海外船社本社へのポートセールスにより誘致活動の強化を図り、寄港増加による地域活性化を目指す。

2. R7年度の実現内容

- ・R6年度の見本市出展等において繋がりを得た船社関係者との関係をより強固にし、姫路港への寄港増を図る。
- ・海外見本市への出展や海外船社の本社訪問等を継続して行う。
- ・海外船社の本社キーパーソンやツアー造成旅行業者等を本県に招き、姫路城をはじめ姫路港の寄港地観光の魅力をアピールするファミトリップの実施を検討する。

3. R6年度実施内容【2百万円】

(1) 海外でのクルーズ見本市への参加【1百万円】

2024年4月にアメリカ合衆国マイアミで開催される「シートレード・クルーズ・グローバル2024」に参加し、世界各国の船社等関係者に姫路港の魅力をPRし、当港への寄港を促す。

*シートレード：国交省港湾局、JNTO（日本政府観光局）、港湾管理者等が日本ブースを共同出展。世界クルーズ船社のトップが一堂に集い、講演や商談会等のセールスが繰り広げられる。

(2) 海外船社本社へのポートセールス活動【0.2百万円】

海外の旅行者が好む、フィールドパビリオンなどの特別感ある体験型寄港地観光をセールスポイントとして、海外クルーズ船社の本社訪問によるポートセールスを実施する。



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
クルーズ見本市への出展		クルーズ見本市への出展	
海外船社本社の訪問		海外船社本社の訪問	
FAMトリップの実施(検討)			FAMトリップの実施(検討)

1. 事業概要

2025年の大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭の開催時に兵庫・岡山・香川にある様々な観光資源（姫路城、直島等）をうまくリンクさせ、外国人の誘客、周遊を促進させる。あわせて、姫路港の利用促進や交通の充実を図ることを目的に令和5年度から2ヶ年で実証実験を実施する。

2. R7年度の実現内容

令和5年度、6年度の実証実験の結果を岡山県香川県とも共有し、外国人観光客の誘客に繋がる効果的なツアー実施する。

3. R6年度実施内容（姫路港開港65周年）【3百万円】

(1) 募集①：直島を訪問中の外国人を誘客 [①-1：3便、①-2：3便 各60名]

〔 ①-1:直島13:00（高速船）⇒姫路港15:00（借上バス）⇒姫路駅15:30⇒姫路城15:40
①-2:直島11:30（高速船）⇒家島13:00～14:30（高速船）⇒姫路港15:00（借上バス）⇒姫路駅15:30⇒姫路城15:40 〕

募集②：姫路を訪問中の台湾人、フランス人等を誘客 [②-1：3便、②-2：3便 各60名]

〔 ②-1:姫路港8:30（高速船）⇒家島9:00～10:30（高速船）⇒直島12:00
②-2:姫路港8:30（高速船）⇒直島（10:30） 〕

※家島では暮らしを知るまち歩き等を体験

(2) 船：定員90名程度の高速船をチャーター

(3) 実施時期：10月～11月頃

(4) 情報発信：乗船中にSNS発信（#姫路港）した客を対象に粗品を進呈



4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
周遊クルーズ実証実験	周遊クルーズを実施		
結果を検証		R5・R6 結果を検証	
外国人誘客ツアー実施			ツアーの実施

【再掲】

1. 事業概要

大阪・関西万博に向けて、経済団体等と連携し、3カ年（R5～7年度）で、ひょうご中はりまブランドの周知に努めるとともに、万博に向けた機運醸成を図る。

2. R7年度の実現内容

- ・海外において、中はりまの食材や食文化への関心が高まるよう P R 活動を続けるとともに、食をテーマとした地域イベントなどとも連携するなど、万博に訪れた外国人観光客の誘客を促進する体制を地域一体で整える。
- ・本事業において実証実験の成果を、万博会場等において紹介する。



3. R6年度実施内容【2百万円】

(1)海外での中はりま食文化PR事業【0.8百万円】

- ①趣 旨： はりまの酒、乾麺、姫路の菓子、水産練製品等、中播磨の食について、海外でPRすることで、中播磨の食文化を紹介し、中播磨地域への関心を高め、万博への誘客促進につなげる。
- ②内 容： 展示会等で、中播磨の食文化を展示、紹介
- ③実施場所： 海外（フランス）



(2)新技術等の実用化に向けた中はりま公民連携事業【1.5百万円】

- ①趣 旨： 社会課題の解決に向け、自動運転、ドローン、燃料電池などの新技術等の実証実験や調査等を公民連携で実施し、万博会場等での展示につなげる。
- ②内 容： 社会課題解決ための実証実験、調査及び、実証結果・成果、調査結果の発表

4. ロードマップ

項 目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
海外での中はりま食文化PR		中播磨の食文化展示・紹介	
新技術等の実用化に向けた 中はりま公民連携		実証実験・調査、成果発表	

西播磨地域の地域づくり活動応援事業の推進

1. 事業概要

地域団体が行動力を高め、社会的活動をより活発に展開することを通じて、地域団体活動の活性化とコミュニティの充実強化を図るための施策の一つとして、「地域づくり活動応援事業」の取組を進める。2025年大阪・関西万博の開催に合わせて、特別枠として「万博機運醸成事業」を設置し、地域の機運醸成を働きかけるイベント等の活動経費を補助する。

2. R7年度の実現内容

地域づくり団体への活動経費の補助を通じて、西播磨地域全体で万博に対する関心や来場意欲、参画意識の一層の向上

3. R6年度実施内容【10百万円】

<主な内容>

①補助金

【特別枠】

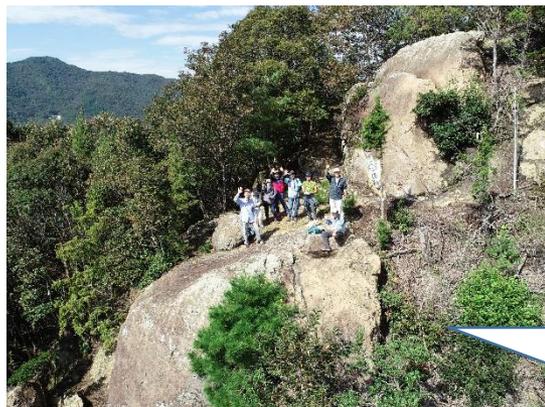
・万博機運醸成事業：【4百万円(内数)】

②交付の流れ

3月中旬～4月下旬：募集

6月下旬：審査会

7月中旬～下旬：補助金交付決定



清流千種川を含む自然豊かな西播磨地域を堪能するサイクリング事業



補助対象事業例

赤穂の塩・塩廻船ゆかりの町やジオの魅力を楽しめる観光プログラムの開発を行う事業

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①補助金	募集、審査会、補助金交付決定、事業実施、実績報告等	募集、審査会、補助金交付決定、事業実施、実績報告等	募集、審査会、補助金交付決定、事業実施、実績報告等

【再掲】

1. 事業概要

2025年開催の「大阪・関西万博」に向けて、地域住民への機運醸成を図るとともに、地域の魅力を発信するための地域PR・観光イベントを開催し、空飛ぶクルマ等の次世代科学技術の展示や体験を通して、播磨科学公園都市の賑わい創出と西播磨地域の連携・交流を促進する。

2. R7年度の実現内容

万博PRステージゾーンの設置により、ひょうごフィールドパビリオンのPRや「市町の日」を想定した動画の放映など、万博に向けた兵庫の取り組みや万博の魅力を効果的に発信し、本会場への誘客を促進する。

3. R6年度実施内容【11百万円】

(1) 時期：令和6年10月下旬

(2) 場所：播磨科学公園都市 芝生広場（赤穂郡上郡町光都2丁目21）

(3) 内容

ア 次世代技術の展示・体験

空飛ぶクルマ、水素関係、電気自動車、「SPring 8」・「SACLA」見学会、科学教室、天体関係の展示・体験、ロボット関係の展示・体験等

イ 地域の情報発信・交流促進

各市町・観光協会、公民連携プラットフォーム、エコフェス、地域づくり活動、立地企業PR、西播磨特産品市、キッチンカー、飲食店ブース等

ウ 万博機運醸成

2025年日本国際博覧会、ひょうごフィールドパビリオン、「市町の日」イベントを想定した出展等



4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
西播磨フロンティア祭の開催	 西播磨フロンティア祭	 西播磨フロンティア祭	 西播磨フロンティア祭

「水」と「緑」と「古」に出会う西播磨ツーリズムの推進

【再掲】

1. 事業概要

西播磨地域の美しい「水」や「緑」にまつわる観光資源、この地に根ざした「古（いにしえ）」の歴史資源や伝統文化を積極的に情報発信するとともに、交流人口の拡大・万博に向けた誘客促進など、戦略的なツーリズムを推進。

2. R7年度の実現内容

・観光PR動画をSNS等で広く情報発信し、国内外からの観光誘客を促進する。

3. R6年度実施内容【5百万円】

(1)西播磨「水のさと」水系自慢プロジェクト【1百万円】

「水」にまつわる観光資源の知名度向上と誘客促進を図るため、千種川、揖保川、瀬戸内海岸をはじめとする、「水」にまつわるストーリー・写真・映像を部門ごとに募集する水系自慢コンテストを開催し、それらの素材を活用した観光PR動画を作成。



【赤西渓谷（宍粟市）】

(2)西播磨を巡るデジタルスタンプラリー【3百万円】

「ひょうごフィールドパビリオン」として認定されたスポット、「水」にまつわるスポット、山城、レトロな街並、道の駅など西播磨地域の魅力的な観光スポットを巡るデジタルスタンプラリーを実施。



【利神城（佐用町）】

(3)「観光カード」による観光プロモーション【1百万円】

管内の写真映えする観光スポットのPR・知名度向上を図るため、インバウンド等をターゲットに、多言語対応可能な観光カードを作成し、イベント等で配布。

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
「水」と「緑」と「古」に出会う西播磨ツーリズムの推進	デジタルスタンプラリー 観光カード 水系自慢	デジタルスタンプラリー 観光カード 水系自慢	デジタルスタンプラリー 観光カード 水系自慢

「但馬まるごと感動市」におけるフィールドパビリオンの情報発信

1. 事業概要

但馬地域の多様な農林水産物や地場産品等を活用した集客・交流イベント「但馬まるごと感動市」において、継続的に但馬地域を訪れ、地域を見て、学び、体験等していただく契機となるよう、ひょうごフィールドパビリオン地域プログラムの情報発信を行う。

2. R7年度の実現内容

大阪・関西万博年度までに、地域内外からのイベント来場者に対するひょうごフィールドパビリオン及び但馬の地域プログラムの認知度を向上。

3. R6年度実施内容【5百万円】

秋期に開催している「但馬まるごと感動市」において、ひょうごフィールドパビリオン及び但馬の地域プログラムを紹介する出展やステージイベントを実施し、地域内外からの来場者に対して一層の周知を図る。



アンバサダーによるFP紹介



PRブースの出展



FP実施主体による出店



イベントの様子

4. ロードマップ

項 目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
FP及び地域PGの周知	★	★	

【再掲】

「コウノトリ・トキの野生復帰と環境創造型農業の推進」の取組を通じた情報発信

1. 事業概要

コウノトリの野生復帰や環境創造型農業(コウノトリ育む農法)に取り組む豊岡市と、同様の取り組みを展開する佐渡市との連携・交流を促進し、成果を広く国内外に情報発信することで、但馬地域への来訪者の増加を図る。

2. R7年度の実現内容

コウノトリとトキの野生復帰、コウノトリ育む農法など環境創造型農業の取組を広く国内外にPRし、ひょうごフィールドパビリオンとあわせて認知度を向上。

3. R6年度実施内容【1百万円】

新潟・兵庫連携会議における「コウノトリ・トキの野生復帰」「環境創造型農業の推進」の取組について、小学校同士の交流（野生復帰や環境創造型農業に関するオンライン授業、生き物調査等の対面学習）などを実施する。



環境創造型農業のシンボル



オンライン交流授業の様子



それぞれのブランド米

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
小学校どうしの交流等を通じた情報発信	★	★	★

1. 事業概要

・2025年の大阪・関西万博がめざす「SDGs達成への貢献」を見据え、地域資源を生かしたビジネスプランの作成などの新たなアイデア・取り組みについて、国際交流を通じて共有・意見交換する機会とする。

・過去30年にわたって交流を続けてきた「ウィーンの森」関係者をはじめ、世界の森づくり関係者を招聘し、知見を交換・共有する。

1993.11.4～11.5 **森林文化国際会議** 主催：丹波の森協会、丹波総合開発推進協議会、丹波10町 開催地：丹波篠山市
海外参加者：ウィーンの森、シュバルツバルト、バイエルンの森、フォンテーヌブローの森

2001.11.5～11.9 **丹波の森・国際井戸端会議** 主催：丹波の森・21世紀記念事業推進委員会 海外参加者：同上 開催地：両市各所

2. 実施内容

・丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんばの開催

ウィーン等海外から演奏家を招聘し、ホールでのコンサートのほか農村、里山等を舞台に野外音楽祭を開催

・ユースビジネスプラン・プログラムの実施

ウィーン等海外の若手起業志望者を招待し、1週間程度丹波地域に滞在してもらい、地域で起業支援を行っている方達との意見交換を行い地域資源を生かしたビジネスプランを作成する。また、女性起業家やワーキング施設開設者等との交流を行う。

・世界の森づくり国際会議の開催

丹波、ウィーン等世界の森づくり関係者との交流・意見交換

<実施体制> 実行委員会形式

3. R6年度事業費【1百万円】

・丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんばの開催

丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば30周年記念事業として、著名なオーケストラを招聘した記念コンサートを開催。



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
国際音楽祭	企画立案→音楽祭の実施	企画立案→音楽祭の実施	企画立案→音楽祭の実施
ビジネスプラン・プログラム		企画立案	事業の実施
国際会議		検討、開催調整	事業の実施

丹波地域への誘客促進に向けた二次交通の整備

丹波県民局

1. 事業概要

大阪・関西万博の開催を見据え、丹波地域への誘客を促進するため、観光資源やひょうごフィールドパビリオン等を巡る周遊観光バス事業を実施するとともに、イベント時に環境に優しいグリーンスローモビリティの移動サービスを提供するなど二次交通の整備を試験的に実施する。

2. R7年度の実現内容

・鉄道（JR）を利用して丹波地域を訪れる方々が観光資源やひょうごフィールドパビリオン等を巡るための二次交通が機能し、より多くの誘客を促進。

3. R6年度実施内容【3百万円】

(1)周遊観光バス事業「ぶらり丹波路号（仮称）」の運行【3百万円】

丹波地域の観光資源、ひょうごフィールドパビリオン等を周遊できる定期観光バスの試験運行

(2)丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム「たんば恐竜号（仮称）」の運行【0.4百万円】

最寄り駅から主要スポットへの移動サービスとしてグリーンスローモビリティを試験運行



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
・周遊観光バス事業「ぶらり丹波路号(仮称)」の運行 ・丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム「たんば恐竜号(仮称)」		試験的運行	本格的導入
		試験的運行	本格的導入

四季の丹波「コト体験」の充実

1. 事業概要

旅行ニーズの「モノ消費」から「コト消費」への移行や、マイクロツーリズム需要、また大阪・関西万博を控えたインバウンド誘致を見据え、中小企業者等が実施する丹波の食文化など地域資源を活用した「コト体験」コンテンツのブラッシュアップ等を支援することにより、四季を通じて更なる誘客を図る。

2. R7年度の実現内容

フィールドパビリオンをはじめ、丹波の地域資源を活かした様々なコト体験コンテンツを各事業者が用意し、インバウンドを含めた国内外からの来訪者に対する受入れ体制を整え、充実した体験を実施。

3. R6年度実施内容【2百万円】

(1)コト体験コンテンツのブラッシュアップ等支援【2百万円】

丹波地域への誘客に資する丹波の食・食文化を体感できる体験プログラムなど地域資源を活用した新たなコト体験の開発又は既存コト体験の磨き上げに要する経費を支援することにより、コンテンツの充実を図る。



丹波焼陶芸体験

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
コト体験コンテンツのブラッシュアップ等支援		コト体験コンテンツ事業者への支援 →	コト体験コンテンツの実施

観光情報の戦略的発信

1. 事業概要

四季折々の情報を様々な媒体により発信するとともに、兵庫県と京都府にまたがる大丹波(2府県、6市1町)の府県の枠を越えた連携事業を推進し、さらなる誘客の促進、交流人口の拡大を目指す。

2. R7年度の実現内容

- 様々な媒体を通じて丹波地域のフィールドパビリオンや観光スポット等を案内し、国内外の来訪者の観光情報源として利用され、丹波地域への誘客を促進。

3. R6年度実施内容【4百万円(内数)】

(1) 丹波地域の観光情報の発信【3百万円(内数)】

「ぶらり丹波路」ウェブサイト・リーフレットにより観光スポットやイベント情報等を適時に発信する。

特集テーマに基づく観光情報により、丹波地域の魅力を新たな視点で発信する。

(2) 広域観光の連携推進【1百万円(内数)】

京都府と連携した大丹波地域の観光スポットを活かした事業の実施や、ホームページやSNSによる観光情報等を発信する。



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
丹波地域の観光情報の発信	観光情報発信 インバウンド向けウェブページ作成	フィールドパビリオンなどの観光情報発信 → 万博につながる誘客促進	
広域観光の連携推進		大丹波地域での観光事業・情報発信	

1. 事業概要

万博期間中に公演を実施することにより、国指定重要無形民俗文化財である淡路人形浄瑠璃の魅力国内外へ発信し、淡路地域への観光客誘引につなげるとともに、伝統文化の保存・継承の機運の向上を図る。

2. R7年度の実現内容

(1) 淡路人形浄瑠璃特別公演の開催

県立芸術文化センターで実施している淡路人形座による公演に、人形浄瑠璃街道連絡協議会の構成団体も交え、各地の人形浄瑠璃の個性を際立たせ、伝統文化の魅力を発信する。

(2) 観光客受入環境向上

淡路人形座の観光客受入環境向上を図る。

- ・淡路人形座の立地をわかりやすくするための懸垂幕の設置
- ・インバウンド対応のための外国語対応イヤホンガイドの導入 等

3. R6年度実施内容【0.7百万円】

観光客受入環境向上

淡路人形座の観光客受入環境向上を図る。



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
特別公演の開催		公演内容企画立案	公演実施
観光客受入環境向上	懸垂幕の設置、外国語対応イヤホンガイドの導入等		

高速舞子バスストップの環境整備

1. 事業概要

高速舞子バスストップは、淡路島・四国への高速バスの玄関口として重要な交通拠点であり、万博開催時には、淡路島で展開されるフィールドパビリオンに訪れる観光客により、バスストップ利用者の一層の増加が見込まれる。一方で、JR舞子駅や山陽電鉄舞子公園駅からの動線が分かりづらく、待合施設や案内施設も十分ではないことから、高速バス利用者にとって快適な待合環境を創出するため、関係機関や施設管理者と連携し、バス事業者が行う高速舞子バスストップの環境整備を支援する。

2. R7年度の実現内容

- ・案内路面標示や案内サインにより、JR舞子駅や山陽電鉄舞子公園駅からの案内が明確になり、淡路島を来訪する方の分かりやすい誘導。
- ・待合ベンチのリニューアルやバス発車案内板の設置により、快適な待合環境を整備。

3. R6年度実施内容【3百万円】

- (1)アクセスルートの明確化
案内路面標示、案内サインの設置 等
- (2)待合環境の整備
待合ベンチのリニューアル、バス発車案内板の設置 等



待合ベンチ (イメージ)



高速舞子バスストップ
現在の4階フロアの様子



案内路面標示 (イメージ)



バス発車案内板 (イメージ)

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
施設整備	施設整備		施設運用開始

淡路地域の大阪・関西万博連携推進事業

1. 事業概要

「大阪・関西万博」を見据え、高付加価値化旅行者等と連携したコンテンツの磨き上げや、高付加価値旅行層のニーズを満たす人材の育成を行い、誘客を図る。コロナ後、インバウンドの回復を踏まえ、繁体字版サイトを活用した情報発信や、関西国際空港全体構想促進協議会等と連携し、インバウンドの獲得を図る。

2. R7年度の実現内容

- ・磨き上げたコンテンツを予約可能にし、淡路島観光協会のホームページに掲載
- ・情報発信により淡路島をPRし、国内外からの誘客を促進

3. R6年度実施内容【4百万円】

- 大阪・関西万博連携事業
- ①高付加価値旅行者等と連携したコンテンツの磨き上げ【0.4百万円】
「SDGs体験型地域プログラム」をメインに高付加価値化旅行者等を招聘し、「淡路島ならではの」「ホンモノ体験」「人との交流」の視点で高付加価値化旅行層にも訴求力のある魅力的なコンテンツの発掘や商品造成のアドバイスを受け、ノウハウを共有しコンテンツを磨き上げ
 - ②高付加価値旅行層のニーズを満たす人材の育成【0.1百万円】
地元スルーガイド（淡路島観光協会認定ガイド）や多言語対応ガイド（通訳ガイド）を育成し受入体制を整備
 - ③着地型高付加価値コンテンツの活用【1百万円】
磨き上げたコンテンツの観光商品化に向け、高付加価値旅行者向けエージェント（ランディングオペレーター）やメディア等を招聘し誘客促進
 - ④淡路島観光協会ホームページでのインバウンド向け情報発信（淡路島観光協会の繁体字版サイトの活用）【0.5百万円】
 - ⑤関西国際空港全体構想促進協議会等との連携事業【2百万円】
関西国際空港を利用する台湾、香港等からのインバウンドの獲得に向け、台湾や香港の有カインフルエンサーによる情報発信やSNSを活用した台湾・香港市場への主要アプリ広告などを実施

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
大阪・関西万博連携事業	①コンテンツの磨き上げ、着地型観光商品の開発		
①コンテンツの磨き上げ		②人材育成（地元スルーガイド、多言語対応ガイド）	
②人材育成			
③着地型高付加価値コンテンツの活用	③コンテンツの観光商品化（ランディングオペレーターを招聘）		
④情報発信	④淡路島観光協会のHP、繁体字版サイトを利用した情報発信		
⑤関西空港全体構想促進協議会等との連携事業	⑤有カインフルエンサーによる情報発信、主要アプリ広告の実施		

1. 事業概要

大阪・関西万博に合わせ、淡路島の豊かな自然、歴史文化、暮らし（生業）、食などを活かした多彩な観光コンテンツやイベントなど幅広い取組を「AWA J I 島博」として展開し、島内への更なる誘客を促進する。

このため、島博の積極的なプロモーションを展開し、機運醸成を図る。

2. R7年度の実現内容

- ・淡路島内のフィールドパビリオンをはじめとする、多彩な事業や取組が広く情報発信され国内外からの誘客の増加促進

3. R6年度実施内容【3百万円】

(1)各種広報活動展開による機運醸成 [1百万円]

ポスターやチラシ等の啓発資材を作成、新聞や旅行雑誌、SNSに広告を掲載し、島博をPR

(2)情報発信[0.2百万円]

AWA J I 島博参加事業や実行委員会の情報等をホームページから発信

(3)デジタルスタンプラリー「2百万円」

地域の幅広い取組を側面的に支援するため、周遊促進のプラットホームとしてデジタルスタンプラリーを実施



4

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
(1)啓発資材の作成、広告		実行委員会の設立・開催	AWA J I 島博の開催
(2)情報発信		各種広報活動の展開	統一ロゴの作成・活用
(3)デジタルスタンプラリー		ホームページの開設・情報発信	デジタルスタンプラリーの実施

1. 事業概要

大阪・関西万博、AWAJI島博の開催に向け、地域の特徴・資源を活かした活動プログラムや、島内外からインバンドを含む多様な人々が集う交流イベントの実施、域外への淡路島の魅力発信等を図る新たな取組に対して支援を行う。

2. R7年度の実現内容

地域団体等の取組により万博、AWAJI島博に対する気運の醸成と淡路島の多彩な魅力が発信され交流人口が増加



3. R6年度実施内容【4百万円】(内万博枠1百万円)

補助内容

- (1) 補助対象 一定の地域を基盤に地域活動を行う団体 (いわゆる地域団体)
- (2) 補助額 上限300千円以内 (定額)
- (3) 補助件数 [万博枠] 4件程度 [一般枠] 20件程度

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
(1) 事業募集		広報、募集、採択	
(2) 事業実施		事業の実施	
(3) 実績報告			報告会

1. 事業概要

淡路島には海の玄関口として、市街地にも近く、淡路島観光やサイクリストにも利便性が高い港が多くある。令和5年度には大型クルーズ船「つぼん丸」が洲本港に初寄港し、また淡路交流の翼港や津名港では、海上航路の実証実験により須磨港との航路が運航されるなど、淡路島の港が再注目されている。風光明媚な海岸景観や豊富な地域資源を活かし、広域交流の促進や地域活性化につなげるため、淡路島を寄港地として事業者が行う港の利活用につながるイベント開催等を支援する。

2. R7年度の実現内容

- ・港を利用した広域交流が促進され、淡路島内のフィールドパビリオンをはじめとする、多彩な事業や取組へとつながり、地域が活性化

3. R6年度実施内容【2百万円】

- (1)港のにぎわい創出イベントへの支援
イベント経費、広告費 等



寄港時の歓迎（イメージ）



須磨港との航路に利用された
boh boh KOBE 号



4. ロードマップ

項 目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
(1)港のにぎわい創出イベントへの支援			港のにぎわい創出イベントへの支援

大阪・関西万博開催に向けた交通対策

1. 事業概要

大阪・関西万博開催に伴い、主要道路における交通量の増加が見込まれることから、国道43号五合橋交差点に簡易IPカメラを設置し、変化する交通流に対して最適な信号制御を行うことで、渋滞の緩和を図る。

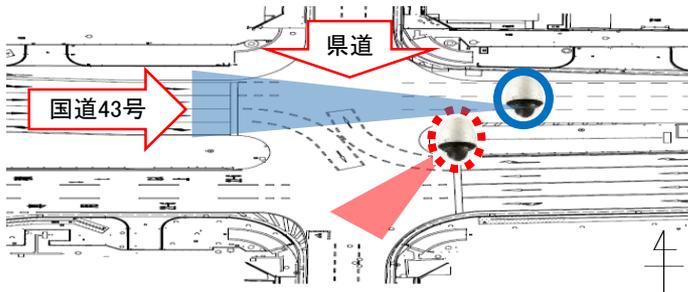
2. R7年度の実現内容

- ・交通管制センターで交通流の映像データをリアルタイムで確認
- ・タイムリーな信号制御を行い、渋滞緩和を図る

3. R6年度実施内容【5百万円】

- ・簡易IPカメラ設置工事

簡易IPカメラ2基の設置【5百万円】



現況写真



大阪・関西万博における交通アクセス図



4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
簡易IPカメラ設置工事 迅速的確な信号制御		簡易IPカメラ設置工事	渋滞緩和に向けた信号制御

7 推進体制の構築

7 推進体制の構築

【R6年度事業費：2百万円】



- ・**県内41市町長、関係団体等が参画する推進協議会**を設置し、万博関連事業の情報共有による機運醸成を行う。
- ・推進協議会の下部組織として**企画委員会を設置**し、各事業展開にかかる企画立案を実施。
- ・万博会場やフィールドパビリオン等への交通アクセスの充実に向け、企画委員会に**交通ワーキングチーム**を設置。
- ・ひょうごフィールドパビリオンのプロモーションに向けて、ストーリーのプログラムやSDGsの観点で説明できる、発信力のある方を**アンバサダーとして任命**し、プロモーション等の活動を推進。

「大阪・関西万博」ひょうご活性化推進協議会 [R5.3設置]

【所掌事務】

県実施事業・構成団体実施事業など**万博関連事業の情報共有**

【構成員】

知事、41市町長、商工会議所・商工会、金融機関、DMO・観光協会、旅行事業者、交通事業者、農漁業関係団体、マツミ、ひょうごフィールドパビリオンプレイヤー 等

「大阪・関西万博」ひょうご活性化推進本部(庁内) [R4.6設置]

【所掌事務】

県万博関連事業の情報共有、県の取組の推進

【構成員】

知事、全部長等、県民局・県民センター長
※推進協議会構成員である「兵庫県」における推進本部

連携・調整

ひょうごフィールドパビリオンアンバサダー [R5.3任命]

- ・山口浩（神戸北野ホテル総料理長）
- ・玉木新雌（播州織作家）
- ・野田昌伸（但馬牛博物館副館長）

意見聴取

提言

「大阪・関西万博」ひょうご活性化推進協議会企画委員会 [R5.3設置]

【所掌事務】

万博に向けた各種事業の推進にかかる**企画検討**

【構成員】

各分野専門家 等

交通ワーキングチーム [R5.8設置]

【所掌事務】

万博会場や兵庫県立美術館、フィールドパビリオン等への**交通アクセスの充実に向けた検討**

【構成員】

県内交通事業者、旅行関係団体 等

※専門的な検討を行うため、企画委員会にワーキングチームを設置

県、市町、民間事業者等関係者と方向性を共有、連携し、オール兵庫での取組みを推進

8 連絡窓口

8 連絡窓口

ページ	項目	連絡窓口		
3	1 ひょうごフィールドパビリオンの展開			
4	ひょうごフィールドパビリオンの展開	企画部	万博推進課	078-362-9010
7	防災ツーリズム	危機管理部	防災支援課	078-362-4096 078-362-4335
8	ユニバーサルな障害者芸術フィールドパビリオンの展開	福祉部	ユニバーサル推進課	078-362-4090
9	「北摂里山地域循環共生圏」のフィールドパビリオン展開	環境部	環境政策課	078-362-9093
10	上山高原のフィールドパビリオン展開	環境部	自然鳥獣共生課	078-362-3318
11	景観資源を活用したひょうごフィールドパビリオンとの連携	まちづくり部	都市政策課	078-362-9299
12	ひょうごフィールドパビリオン活用推進事業	教育委員会事務局	義務教育課	078-362-3772
13	神戸のフィールドパビリオン魅力発信	神戸県民センター	県民交流室企画防災・ビジョン担当	078-647-9071
14	次代につなぐ湊川隧道の保存・継承と魅力発信	神戸県民センター	神戸土木事務所企画調整担当	078-737-2382
15	「都市山・六甲山」魅力発信～自然とアートのコラボレーション～	神戸県民センター	県民交流室県民・産業振興課	078-647-9090
16	摩耶山の治山遺構と観光振興	神戸県民センター	六甲治山事務所工務第1課	078-742-8423
17	阪神南地域のブランド力向上	阪神南県民センター	県民交流室県民・産業振興課	06-6481-7663 06-6481-4558
18	尼崎運河の魅力発信	阪神南県民センター	尼崎港管理事務所 尼崎21世紀プロジェクト推進室	06-6105-4431
19	フィールドパビリオンと連動した阪神北地域の魅力アップ	阪神北県民局	総務企画室総務防災課	0797-83-3127
20	いなみ野ため池SDGsプロジェクト	東播磨県民局	地域振興室県民課	079-421-9063
21	大阪・関西万博を契機とした北播磨の魅力創出・発信	北播磨県民局	総務企画室総務防災課	0795-42-9308
22	東条川疏水ネットワーク博物館のさらなる展開	北播磨県民局	加古川流域土地改良事務所農村計画第2課	0794-82-9843
23	豊かな海 再生・体験推進事業	中播磨県民センター	姫路農林水産振興事務所水産課	079-281-9295
24	「水」と「緑」と「古」に出会う西播磨ツーリズムの推進	西播磨県民局	県民交流室地域づくり課	0791-58-2132
25	万博に向けた西播磨観光プロモーションの展開	西播磨県民局	県民交流室地域づくり課	0791-58-2132
26	ひょうごフィールドパビリオン地域内連携の強化と情報発信	但馬県民局	地域政策室地域づくり課	0796-26-3615
27	但馬の多彩な観光資源の再構築	但馬県民局	地域政策室地域づくり課	0796-26-3685
28	万博推進に向けた山陰海岸ジオパークの受入環境強化の推進	但馬県民局	地域政策室ジオパーク課	0796-26-3782
29	グローバル丹波2025推進事業	丹波県民局	県民交流室総務防災課 県民交流室地域共創課	0795-73-3718 0795-88-5045
30	丹波の里山づくり促進事業(体験プログラム実施団体へのアドバイザー派遣)	丹波県民局	丹波農林振興事務所森林課	0795-73-3795

8 連絡窓口

ページ	項目	連絡窓口		
31	2 万博会場「兵庫県ゾーン」・兵庫県立美術館における魅力発信			
32	万博会場「兵庫県ゾーン」・兵庫県立美術館における魅力発信	企画部	万博推進課	078-362-9058
34	3 「兵庫県版テーマウィーク」による魅力発信			
35	「兵庫県版テーマウィーク」の設定による魅力発信	企画部	万博推進課	078-362-4223
39	創造的復興サミット	危機管理部	防災支援課	078-362-4336
40	【再掲】防災ツーリズム	危機管理部	防災支援課	078-362-4096 078-362-4335
41	豊岡復興建築群の魅力発信	但馬県民局	豊岡土木事務所まちづくり建築第2課	0796-26-3755
42	万博に向けた国際フロンティア産業メッセの開催	産業労働部	地域産業立地課	078-362-3334
43	兵庫の地場産業の魅力発信	産業労働部	地域産業立地課	078-362-3331
44	兵庫津ミュージアムを核とした兵庫五国の魅力発信	企画部	地域振興課	078-362-4021
45	兵庫の多彩な地域遺産の魅力発信	企画部	地域振興課	078-362-4021
46	2025年大阪・関西万博に向けた芸術文化魅力発信の強化	県民生活部	芸術文化課	078-362-9077
47	H Y O G Oミュージアム魅力発信プロジェクト	教育委員会事務局	社会教育課	078-362-9434
48	播磨中央公園サイクリングコースの利活用	北播磨県民局	加東土木事務所公園・下水道課	0795-42-6929
49	西播磨フロンティア祭の開催	西播磨県民局	県民交流室地域づくり課	0791-58-2132
50	【再掲】「水」と「緑」と「古」に出会う西播磨ツーリズムの推進	西播磨県民局	県民交流室地域づくり課	0791-58-2132
51	【再掲】万博に向けた西播磨観光プロモーションの展開	西播磨県民局	県民交流室地域づくり課	0791-58-2132
52	自動運転による来訪者移動支援	企業庁	地域整備振興課	078-362-3698
53	環境創造型農業サミット	農林水産部	農業改良課	078-362-3423
54	輸出向け日本酒商品開発プロジェクト	農林水産部	農産園芸課	078-362-3494
55	阪神アグリパーク構想の推進 ーモバイルスタンプラリーの開催、ー阪神産黒大豆枝豆さやもぎ体験の実施ー	阪神北県民局	阪神農林振興事務所農政振興課	079-562-8848
56	SDGs山田錦 ～地域の宝「山田錦」の持続可能な地域づくりによる次世代への継承～	北播磨県民局	加東農林振興事務所農政振興課	0795-42-9422
57	「ウカトリ」の野生復帰と環境創造型農業の推進」の取組を通じた情報発信	但馬県民局	豊岡農林水産振興事務所管理課	0796-26-3696
58	健口から始めるウェルビーイング向上イベント	保健医療部	健康増進課	078-362-9109
59	先端医療技術等の体験・普及啓発	病院局	企画課	078-362-3299
60	スタートアップチャレンジ甲子園	産業労働部	新産業課	078-362-4156
61	ひょうご・ヒューマンフェスティバル	県民生活部	総務課人権推進室	078-362-9135
62	ひょうご・こべ女性活躍推進企業認定「ミモザフォーラム」	県民生活部	男女青少年課	078-362-3160
63	多様な人々が安心して万博に参加できる基盤づくり ～誰一人取り残さない「ユニバーサルひょうご」の実現～	福祉部	ユニバーサル推進課	078-362-4379

8 連絡窓口

ページ	項目	連絡窓口		
64	里山・里海国際フォーラム	環境部	総務課	078-362-3272
65	北摂里山博物館構想の推進－里山資源を活用した環境学習・環境創生－	阪神北泉民局	県民交流室環境課	0797-61-4015
66	「あわじ環境未来島」体感プロジェクト	淡路県民局	交流渦潮室交流渦潮課	0799-26-2125
67	ひょうごSDGsシンポジウム（仮称）の開催	企画部	SDGs推進課	078-362-3579
68	障害があっても一人ひとりが望む多様な未来社会をデザイン～誰一人取り残さない「ユニバーサルひょうご」の実現～	福祉部	ICバ－刈推進課	078-362-3261
69	県立淡路景観園芸学校における国際交流事業の展開	まちづくり部	公園緑地課	078-362-9308
70	淡路島ため池1万カ所博覧会	淡路県民局	洲本土地区改良事務所農村計画第2課	0799-26-2117
71	AWA J I 島博の実現に向けた取組の推進	淡路県民局	交流渦潮室交流渦潮課	0799-26-2015
72	「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けた情報発信	淡路県民局	交流渦潮室交流渦潮課	0799-26-2085
73	【再掲】「都市山・六甲山」魅力発信～自然とアートのコラボレーション～	神戸県民センター	県民交流室県民・産業振興課	078-647-9090
74	万博に向けた中はりまの産業PR事業	中播磨県民センター	県民交流室産業観光課	078-281-9406
75	4 リージョナルデー「市町の日」による魅力発信			
76	リージョナルデー「市町の日」による魅力発信	企画部	万博推進課	078-362-9114
77	5 「子どもの夢プロジェクト」の実施			
78	「子どもの夢プロジェクト」の実施	企画部	万博推進課	078-362-9058
80	6 機運醸成事業の実施			
81	機運醸成事業の実施	企画部	万博推進課	078-362-9114
84	多彩なメディアを活用した広報展開	総務部	広報広聴課	078-362-3016
85	大阪湾ベイエリア活性化（クルージングMICE）	企画部	SDGs推進課	078-362-4217
86	万博会場外駐車場（尼崎地区）を活用したにぎわいづくり	企画部	SDGs推進課	078-362-4217
87	【再掲】兵庫津ミュージアムを核とした兵庫五国の魅力発信	企画部	地域振興課	078-362-4021
88	【再掲】多様な人々が安心して万博に参加できる基盤づくり	福祉部	ICバ－刈推進課	078-362-4379
89	次世代モビリティ（空飛ぶクルマ）の運航	産業労働部	新産業課	078-362-3054
90	海外からの誘客促進～海外事務所等を活用したPR強化～	産業労働部	国際課	078-362-3026
91	「兵庫テロワール旅」誘客のための受入環境充実	産業労働部	観光振興課	078-362-3696
92	広域観光コンテンツ造成等周遊促進	産業労働部	観光振興課	078-362-3696
93	位置情報ゲームを活用した誘客促進	産業労働部	観光振興課	078-362-3317
94	じばさん兵庫SDGs推進事業	産業労働部	地域産業立地課	078-362-3331
95	ひょうごの「農」「食」輸出拡大の加速化	農林水産部	流通戦略課	078-362-9213
96	但馬牛・神戸ビーフの情報発信拠点の連携強化	農林水産部	畜産課	078-362-3454

8 連絡窓口

ページ	項目	連絡窓口		
97	アクセス等ハード面での環境整備	土木部	港湾課	078-362-3539
98	県立都市公園や夢舞台における万博及びひょうごフィールドパビリオンとの連携	まちづくり部	公園緑地課	078-362-9308
99	淡路花博25周年記念花みどりフェア	まちづくり部	公園緑地課	078-362-9308
100	ミュージアムロード魅力発信事業の実施	神戸県民センター	県民交流室県民・産業振興課	078-647-9083
101	阪神臨海部での次世代モビリティの社会実装	阪神南県民センター	県民交流室県民・産業振興課	06-6481-4618
102	マリンスポーツを活用した阪神臨海部活性化	阪神南県民センター	県民交流室県民・産業振興課	06-6481-4618
103	阪神南地域の大阪・関西万博に向けた交流の促進	阪神南県民センター	県民交流室県民・産業振興課	06-6481-4618
104	阪神臨海部での脱炭素の推進	阪神南県民センター	県民交流室県民・産業振興課	06-6481-7663
105	万博会場外駐車場周辺の道路環境整備	阪神南県民センター	西宮土木事務所道路第2課	0798-39-6126
106	【再掲】阪神南地域のブランド力向上	阪神南県民センター	県民交流室県民・産業振興課	06-6481-7663 06-6481-4558
107	【再掲】尼崎運河の魅力発信	阪神南県民センター	尼崎港管理事務所 尼崎21世紀プロジェクト推進室調整課	06-6105-4431
108	公民連携による「阪神北SDGsプロジェクト」	阪神北県民局	総務企画室総務防災課	0797-83-3115
109	東播磨ツーリズムファンづくり事業	東播磨県民局	地域振興室県民課	079-421-9414
110	西日本有数の産地「東播磨産麦類」の魅力発信	東播磨県民局	加古川農林水産振興事務所農政振興課	079-421-9615
111	東播磨産農畜産物の魅力発信～大阪等でのマルシェ出店（展）～	東播磨県民局	加古川農林水産振興事務所農政振興課	079-421-9615
112	「農・食」「伝統産業」「歴史・文化」が創る北播磨ツーリズムの推進	北播磨県民局	県民交流室県民・商工観光課	0795-42-9412
113	中播磨地域における万博推進（地域づくり活動応援事業）	中播磨県民センター	県民交流室県民課	079-281-9197
114	関西、瀬戸内インバウンド観光客をターゲットとした中播磨多言語パンフレット制作事業	中播磨県民センター	県民交流室産業観光課	079-281-9059
115	クルーズ見本市への出展事業	中播磨県民センター	姫路港管理事務所所付	079-235-0176
116	岡山県・香川県との周遊クルーズ実証実験	中播磨県民センター	姫路港管理事務所所付	079-235-0176
117	【再掲】万博に向けた中はりまの産業PR事業	中播磨県民センター	県民交流室産業観光課	078-281-9406
118	西播磨地域の地域づくり活動応援事業の推進	西播磨県民局	県民交流室県民活動支援課	0791-58-2180
119	【再掲】西播磨フロンティア祭の開催	西播磨県民局	県民交流室地域づくり課	0791-58-2132
120	【再掲】「水」と「緑」と「古」に出会う西播磨ツーリズムの推進	西播磨県民局	県民交流室地域づくり課	0791-58-2132
121	「但馬まるごと感動市」におけるフィールドパビリオンの情報発信	但馬県民局	豊岡農林水産振興事務所農政振興課	0796-26-3697
122	【再掲】コウホリ・トキの野生復帰と環境創造型農業の推進」の取組を通じた情報発信	但馬県民局	豊岡農林水産振興事務所管理課	0796-26-3696
123	ウィーンの森、世界の森との交流	丹波県民局	県民交流室地域共創課	0795-73-0690
124	丹波地域への誘客促進に向けた二次交通の整備	丹波県民局	県民交流室産業振興課	0795-73-3782
125	四季の丹波「コト体験」の充実	丹波県民局	県民交流室産業振興課	0795-73-3782

8 連絡窓口

ページ	項目	連絡窓口		
126	観光情報の戦略的発信	丹波県民局	県民交流室産業振興課	0795-73-3782
127	淡路人形浄瑠璃の魅力発信	淡路県民局	交流渦潮室県民・商工労政課	0799-26-2046
128	高速舞子バスストップの環境整備	淡路県民局	洲本土木事務所企画調整担当	0799-26-3221
129	淡路地域の大阪・関西万博連携推進事業	淡路県民局	交流渦潮室交流渦潮課	0799-26-2015
130	【再掲】AWAJI島博の実現に向けた取組の推進	淡路県民局	交流渦潮室交流渦潮課	0799-26-2015
131	淡路の地域づくり活動の支援	淡路県民局	交流渦潮室県民・商工労政課	0799-26-2042
132	淡路の港のにぎわい創出と定着化の推進	淡路県民局	洲本土木事務所企画調整担当	0799-26-3221
133	大阪・関西万博開催に向けた交通対策	警察本部	交通規制課	078-341-7441
134 7 推進体制の構築				
135	推進体制の構築	企画部	万博推進課	078-362-9114

9 施策体系別一覧

各事業展開に関するR6年度事業費 (個別事業を含む県全体事業費)

区分	R6年度事業費 【百万円】
1 ひょうごフィールドパビリオンの展開	266
2 万博会場「兵庫県ゾーン」・兵庫県立美術館における魅力発信	791
3 「兵庫県版テーマウィーク」の設定による魅力発信	247
4 リージョナルデー「市町の日」による魅力発信	—
5 「子どもの夢」プロジェクトの実施	16
6 機運醸成事業の実施	535
7 推進体制の構築	2
合計 (ハード含む)	1,857
合計 (ハード除き)	1,051

※万博関連事業（投資的経費を含む）を掲載し、予算の切り分けの困難なもの（内数と表記）、再掲の事業費は含んでいない